

令和4年度

事業報告(案)

社会福祉法人 えがりて

目 次

経営方針・中期ビジョン	
取り組むべき重点課題・重点目標の評価	・ ・ ・ ・ ・ 1
< 1 > 法人全体	
1. 職員動向	・ ・ ・ ・ ・ 4
2. 職員配置	・ ・ ・ ・ ・ 6
3. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会	・ ・ ・ ・ ・ 7
4. 監査	・ ・ ・ ・ ・ 8
5. 避難訓練	
6. 寄附	
7. 全体行事	・ ・ ・ ・ ・ 9
8. 研修	・ ・ ・ ・ 10
9. 会議	・ ・ ・ ・ 13
10. 委員会	・ ・ ・ ・ 19
11. ダイバーショナルセラピー (DT)	・ ・ ・ ・ 23
12. 家族会	・ ・ ・ ・ 26
13. 見学、実習	・ ・ ・ ・ 27
14. ボランティア活動状況	
< 2 > 特別養護老人ホーム吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 28
2. 行事实施状況	・ ・ ・ ・ 29
< 3 > ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 30
2. 行事实施状況	・ ・ ・ ・ 31
統計資料 (特別養護老人ホーム吹上苑)	・ ・ ・ ・ 32
(ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑)	
< 4 > 短期入所生活介護事業所吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 35
2. 活動実施状況	・ ・ ・ ・ 36
3. 統計資料	・ ・ ・ ・ 38
< 5 > 栄養課	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 39
2. 行事食・選択食	・ ・ ・ ・ 40
3. 栄養実績	・ ・ ・ ・ 41
< 6 > デイサービスセンター吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 42
2. 活動実施状況	・ ・ ・ ・ 43
3. 統計資料	・ ・ ・ ・ 44

< 7 >あかね雲吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 4 5
2. 活動実施状況	・ ・ ・ ・ 4 6
3. 統計資料（地域密着型通所介護介護） （基準該当生活介護事業）	・ ・ ・ ・ 4 8
< 8 >介護予防教室吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 5 0
2. 活動実施状況	・ ・ ・ ・ 5 1
3. 統計資料	・ ・ ・ ・ 5 2
< 9 >居宅介護支援事業所吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 5 3
2. 統計資料	・ ・ ・ ・ 5 4
< 1 0 >鴻巣地域包括支援センター吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 5 6
2. 統計資料	・ ・ ・ ・ 5 8

経営方針

1. <利用者に対して:心に寄り添って>

社会福祉法人えがりて職員は、コロナ禍においても、ひとり一人の利用者のクオリティ・オブ・ライフ(人生の質)の向上を目指し、支援する

2. <職員として:チームワーク>

社会福祉法人えがりて職員は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時や洪水などの災害発生時においても、エッセンシャルワーカーとしての自覚を持ち、多職種が連携・協働し、事業が継続的に提供できる体制を構築する

3. <地域に対して:支え合い>

社会福祉法人えがりて職員は、アフターコロナを見据え、福祉・介護・医療の専門職として、吹上地域の地域包括ケアシステムの推進に貢献する

中期ビジョン

1. 令和 3 年度の介護報酬改定では、感染症や災害への対応力強化、地域包括ケアの推進、科学的介護に裏付けられた質の高いサービスの提供などを図ることが示された。吹上苑では以下の課題に積極的に取り組む

- 1) LIFE(科学的介護情報システム)の活用
- 2) 栄養マネジメント強化加算・褥瘡マネジメント加算の取得
- 3) 看取りの時期における本人の意思を尊重した医療・ケアの方針決定に対する支援の充実
- 4) リスクマネジメント委員会・虐待防止検討委員会の円滑な運営
- 5) 感染症・災害発生時の吹上苑 BCP(事業継続計画)の策定
- 6) 介護職員等の新たな処遇改善加算の取得
- 7) 無資格介護職員対象の認知症介護基礎研修の受講
- 8) 中堅介護職員対象の認知症介護実践者研修の受講

2. コロナ禍の長期化を見据え、令和 2・3 年度クラスターの発生を防止できた経験を踏まえ、今後も感染対策を継続するとともに、常に感染対策に向き合わなければならない職員のメンタルヘルスケアに取り組む

3. コロナ禍での面会制限の長期化が利用者・家族に及ぼす負の影響や、アフターコロナも見据え、利用者と家族の関係改善や、コミュニケーションが活性化する面会や行事の取り組みを進める

4. コロナ禍で令和 2・3 年度法人内の在宅サービス事業の収入減が明確になったため、経営改善会議を立上げ、収支改善に向けた取り組みを促進し、経営基盤の強化を目指す

5. コロナ禍でオンラインによる研修や会議などが手軽に活用できることが明らかになったことから、積極的に活用するとともに、アフターコロナを見据え、研修制度を見直す

取り組むべき重点課題

1. 社会福祉法人えがりては、新型コロナウイルス感染症のクラスター対策を講じるとともに、発生時に備える必要がある
2. 社会福祉法人えがりては、利用者と家族の良好な関係を築くための面会方法や行事を検討する必要がある
3. 社会福祉法人えがりては、コロナ禍で高齢者ケアについて語り合う研修の機会が減少したため、研修制度を見直す必要がある
4. 社会福祉法人えがりては、コロナ禍で利用者の減少に直面した在宅サービスの運営方法を見直す必要がある
5. 社会福祉法人えがりては、将来の介護労働力不足を考慮し、ユニット型特養の食事提供方法を見直す必要がある

重点目標の評価

1. 社会福祉法人えがりては、基本的な感染対策を徹底し、全職員がより一層健康管理に努めるとともに、高齢者施設職員対象の PCR 検査を継続する。また万が一に備え、適切な感染管理ができる体制や療養環境を整備する
【評価】新型コロナ第 8 波の感染拡大の影響で、家庭内で感染する職員が増加し、法人内の感染対策の徹底が不十分だったこともあって、2 部署から利用者・職員のクラスターが発生。病床が逼迫し、医療機関の受け入れがストップしたため、最低限の職員での施設内療養を余儀なくされた。
2. 社会福祉法人えがりては、利用者や家族の想いに応えるため、基本的な感染対策を徹底した上で、春・秋の季節には、利用者と家族が対面で語り合える苑庭での青空面会を、夏には、小規模なふっきい祭(参加家族の人数制限あり)を開催する
【評価】今年度も春と秋に青空面会を開催し、家族の支持を得た。例年入居者が楽しみにしているふっきい祭は、新型コロナ第 7 波の感染拡大と重なり、急遽、家族の参加を見合わせるなど、計画を変更せざるを得なかった。
3. 社会福祉法人えがりては、オンライン研修を十分に活用するとともに、基本的な感染対策を徹底し、勤務時間内での小規模研修を開催し、研修テーマ別のグループワークをメインに、ケアの質の向上を目指すとともに、職員間のコミュニケーションの活性化を図る
【評価】新型コロナ感染拡大後は、オンラインでの研修機会が増えたことから、コロナ禍でも積極的に外部研修に参加することができた。また、2 年振りの内部研修では、グループワークを導入し、前向きなケアを語り合う職員の明るい声を聴くことができた。

4. 社会福祉法人えがりては、コロナ禍で在宅の要介護高齢者(特に独居・日中独居)の急速に高まる暮らしのニーズや、軽度者の運動のニーズに応えたサービスを提供する

【評価】選ばれる通所介護事業所を目指すため、各事業所でサービス内容やレクリエーションを刷新することができた。法人内のベテラン介護支援専門員からのアドバイスで、軽・中度利用者は、運動(体を動かすこと)に対する欲求が高いことが分かり、運動メニューを加えることで、集客力アップを図った。運動はフレイルの予防に最も役立つため、今後も運動メニューを広げていきたい。

5. 社会福祉法人えがりては、ユニット型特養の配膳方式を、栄養課が管理する効率的な中央配膳方式に変更する

【評価】令和4年3月からユニット型特養で中央配膳方式を開始したところ、最初から中央配膳方式を想定していた従来型特養とは違い、実際にやってみると、配膳車の大きさや配膳時間などで、より厳しい条件をクリアする必要があると分かり、解決手段として、新たに配膳台や食札を活用することにした。試行錯誤を繰り返し、中央配膳方式に完全移行できた。

< 1 > 法人全体

1. 職員動向

1) 採用

①常勤職員

No.	所属	職種	採用年月日	理由
1	栄養課	栄養士	令和4年4月1日	退職者補充
2	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和4年4月1日	退職者補充

②非常勤職員

No.	所属	職種	採用年月日	理由
1	あかね雲	運転手	令和4年6月16日	退職者補充
2	あかね雲	看護師	令和4年7月1日	退職者補充
3	ショートステイ	ケアワーカー(入浴専門)	令和4年8月22日	増員
4	特養(従来型)	ケアワーカー	令和4年10月1日	退職者補充
5	栄養課	調理員	令和4年10月1日	退職者補充
6	総務課	宿直員	令和5年3月16日	退職者補充
7	ショートステイ	運転手	令和5年3月16日	退職者補充

2) 休職

No.	所属	職種	休職期間	理由
1	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和2年9月13日～令和4年4月13日	産休・育休(延長)
2	栄養課	栄養士	令和2年12月20日～令和4年5月30日	産休・育休(延長)
3	包括	社会福祉士	令和3年7月12日～令和5年3月31日	産休・育休(延長)
4	包括	社会福祉士	令和3年6月29日～令和5年3月31日	産休・育休(延長)
5	特養(従来型)	ケアワーカー	令和3年9月29日～令和5年3月31日	産休・育休(延長)
6	デイサービス	ケアワーカー	令和3年10月4日～令和4年11月11日	産休・育休
7	特養(従来型)	ケアワーカー	令和3年10月15日～令和5年4月15日(予定)	産休・育休(延長)
8	-	ケアワーカー	令和4年3月24日～令和4年5月31日	私傷病
9	-	ケアワーカー	令和4年5月16日～令和4年6月6日	私傷病
10	-	ケアワーカー	令和4年7月14日～令和4年7月15日	私傷病
11	ショートステイ	ケアワーカー	令和4年8月22日～令和4年10月21日	介護休業
12	特養(従来型)	ケアワーカー	令和4年9月26日～令和5年10月28日(予定)	産休・育休
13	特養(従来型)	ケアワーカー	令和4年10月1日～令和5年1月1日	介護休業
14	特養(従来型)	ケアワーカー	令和5年1月26日～令和6年3月15日(予定)	産休・育休
15	-	栄養士	令和5年3月10日～令和5年3月31日	私傷病

3)退職

①常勤職員

No.	所属	職種	退職日	理由
1	特養(従来型)	ケアワーカー	令和4年6月15日	自己都合
2	総務課	事務員	令和4年12月15日	自己都合
3	看護課	看護師	令和5年3月31日	自己都合
4	栄養課	栄養士	令和5年3月31日	自己都合
5	ショートステイ	ケアワーカー	令和5年3月31日	自己都合

②非常勤職員

No.	所属	職種	退職日	理由
1	看護課	看護師	令和4年4月15日	自己都合
2	栄養課	調理員	令和4年4月15日	自己都合
3	あかね雲	運転手	令和4年4月30日	自己都合
4	あかね雲	ケアワーカー	令和4年5月15日	自己都合
5	特養(従来型)	ケアワーカー	令和4年5月29日	自己都合
6	包括	介護支援専門員	令和4年7月31日	契約満了
7	特養(従来型)	ケアワーカー	令和4年9月30日	自己都合
8	ショートステイ	ケアワーカー(入浴専門)	令和4年10月31日	自己都合
9	デイサービス	ケアワーカー	令和4年11月30日	自己都合
10	デイサービス	ケアワーカー	令和4年12月31日	自己都合
11	看護課	看護師	令和5年1月7日	自己都合
12	デイサービス	ケアワーカー	令和5年3月31日	契約満了

4)採用試験

常勤職員採用試験

	実施年月日	職種	受験者	採用内定者
第1回	令和4年6月15日	ケアワーカー	1名	0名
第2回	令和4年6月20日	ケアワーカー	2名	2名
第3回	令和5年2月6日	事務員	1名	0名
第4回	令和5年2月15日	事務員	1名	0名
第5回	令和5年3月20日	事務員	1名	0名

2. 職員配置

令和5年 3月31日現在

【全職員数:187名(内、非常勤:92名)】

職種	職員数内訳				資格 (延べ人数)	
	常勤	非常勤		常勤換算		
		非常勤	常勤換算			
施設長	1				保健師、介護支援専門員 看護師、社会福祉士	
総務課	事務員	5	2	0.5		
	宿直員		4	2		
	用務員		1	0.4		
看護課	事務員		1	0.1		
特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	生活相談員	2			介護支援専門員1名 介護福祉士2名	
	介護支援専門員	3			介護支援専門員3名 社会福祉士2名、介護福祉士3名	
	看護師	3	3	3.5	看護師5名、准看護師1名 介護支援専門員1名	
	機能訓練指導員	1	1	0.1	看護師2名	
	ケアワーカー	特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	29(育休4・育短1)	20	9.7	介護支援専門員1名 社会福祉士1名、介護福祉士34名
		ユニット型特養	19	15	7.4	介護支援専門員3名 社会福祉士3名、介護福祉士25名
	運転手		3	1		
送迎助手		1	0.1			
栄養課	管理栄養士	1			特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	
	管理栄養士	1			ユニット型特養	
	栄養士	5(育短1)	1	0.5		
	調理師	3				
	調理員		8	3.2		
デイサービスセンター (通所介護 鴻巣市介護予防 通所介護相当サービス)	生活相談員	1			介護福祉士	
	生活相談員兼ケアワーカー	2			介護支援専門員1名 介護福祉士2名	
	看護師		2	1.6	看護師2名	
	ケアワーカー	4(育短1)	12	5.2	介護支援専門員1名 介護福祉士9名	
	運転手		4	1.6		
	調理員		1	0.4		
地域包括支援センター	管理者兼主任介護支援専門員	1			主任介護支援専門員3名 看護師4名	
	主任介護支援専門員	1			介護支援専門員7名 社会福祉士4名	
	看護師	3				
	社会福祉士	3(育休1・育短1)				
居宅介護支援事業所	介護支援専門員	4			主任介護支援専門員1名 介護支援専門員4名 介護福祉士4名	
介護予防教室 〔鴻巣市はつらっデイサービス〕	ケアワーカー	1	4	1.2	介護支援専門員1名 介護福祉士1名 管理栄養士1名	
あかね雲吹上苑 (地域密着介護通所介護 鴻巣市介護予防 通所介護相当サービス 基準該当障害福祉 サービス)	管理者兼生活相談員	1			社会福祉士、介護福祉士	
	生活相談員兼ケアワーカー	1			介護福祉士	
	看護師		2	1	看護師	
	ケアワーカー		5	3.4	介護支援専門員1名 介護福祉士5名	
	運転手		2	0.6		
計	95(育休5)	92	43.5	(実人数)		

3. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会

第1回理事会		開催日:令和4年5月26日 14:00～
議案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度事業報告(案)及び令和3年度計算書類等(案)の承認について 2. 役員(理事)選任候補者の選定と選任候補者の評議員会への推薦について 3. 評議員選任候補者の選定等について(評議員選任・解任委員への推薦) 4. 運営規程の変更(案)について 5. 評議員会の招集について 	
第1回評議員会		開催日:令和4年6月24日 13:30～
議案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度計算書類等(案)の承認について 2. 役員(理事)の選任について 	
第1回評議員選任・解任委員会		開催日:令和4年6月24日 15:44～
議案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評議員の選任について 	
第2回理事会		開催日:令和4年9月29日 14:00～
議案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員給与規程の一部改正(案)について 2. 育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について 3. 新型コロナウイルス感染症対応特別有給休暇規程の廃止について 4. 就業規則の一部改正(案)について 5. 準職員就業規則の一部改正(案)について 6. 運営規程の変更(案)について 	
第3回理事会		開催日:令和4年12月19日 14:00～
議案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度 第1次補正予算(案)について 2. 温冷配膳車の購入について 3. 個人情報管理規程等の一部改正(案)について 4. 就業規則の一部改正(案)について 	
第4回理事会		開催日:令和5年3月27日 14:00～
議案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度 事業計画(案)について 2. 令和5年度 収支予算(案)について 3. 令和5年度施設運営資金等の借入れについて 4. 職員給与規程の一部改正(案)について 5. 経理規程の一部改正(案)について 	

4. 監査

1) 内部監査

実施日	令和4年5月21日(処遇・財務)
実施者	(処遇) 手島初江監事 (財務) 蛭川俊也監事
指導等	口頭指導のみ

2) 外部監査

監査名	社会福祉施設等指導監査(実地)
実施日	令和4年10月6日
実施機関	埼玉県福祉部福祉監査課 高齢施設担当
監査項目	運営状況の検査
指導等	注意事項のみ

監査名	鴻巣市地域包括支援センター運営事業委託契約に基づく運営状況確認及び介護保険法第23条に基づく運営指導
実施日	令和4年12月23日
実施機関	鴻巣市健康福祉部介護保険課 高齢福祉担当・事業者担当
監査項目	業務委託契約の規定に基づく運営状況の確認
指導等	口頭指導のみ

5. 避難訓練

1) 洪水時避難訓練

実施日	訓練想定	対象
6月14日	日中	法人全体
7月15日	夜間	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ
8月17日	日中・浸水	法人全体

2) 火災時避難訓練

実施日	訓練想定	対象
9月22日	日中	あかね雲
9月30日	日中	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ、デイサービス 介護予防教室、居宅、包括
3月1日	夜間	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ
2月14日	日中	あかね雲

6. 寄附

寄附申込者	寄附日	寄附内容
ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑入居者家族	11月28日	現金 30,000円
	合計	30,000円

7. 全体行事

行事名	令和4年度 特別養護老人ホーム吹上苑・ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑家族会総会
開催日	令和4年6月19日（日）書面にて
内 容	議題 1. 特別養護老人ホーム吹上苑・ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画について 2. 吹上苑家族会 令和3年度決算報告、令和4年度予算案について 3. 令和4年度 家族会役員の改選について
評 価	今年度も新型コロナ感染対策のため書面開催とした。全議題について家族の承認を得られた。

行事名	第10回 夢のふっきい祭
開催日	令和4年7月24日（日）13:00～18:00
内 容	感染が急拡大した第7波と重なったため、家族の参加は見送った。 参加者数を制限し、4回に分散して開催。 催し物は例年通り行い、飲食の模擬店は中止した。 【催し物】 お菓子のつかみ取り、輪投げで景品ゲット、ヨーヨー釣り、記念写真館 *3密を避けるため特に換気に注意し、基本的な感染対策を徹底した上で開催
評 価	開催日の数日前から急激に感染者が増加し、第7波となったため、新型コロナ感染対策を第一に考えて企画を変更した。輪投げでは、欲しかった景品を手に入れることができ、記念写真館では、浴衣姿の職員やふっきいと写真を撮り、大変喜ばれていた。ゆったりとした時間の中で、ゆとりを持ってお祭りを楽しむことができた。

行事名	令和4年度 特別養護老人ホーム吹上苑・ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑敬老会
開催日	令和4年9月19日（月）祝 12:00～15:00
内 容	今年度もコロナ禍での開催となり、例年行っている来賓・家族を招いてのセレモニーは中止し、規模を縮小し開催した。 特 養：最長寿者4名（100歳以上）、長寿者17名（90歳以上）、米寿3名、喜寿1名 ユニット型特養：最長寿者4名（100歳以上）、長寿者27名（90歳以上） 最長寿者、長寿者、米寿、喜寿の入居者は和服に着替え、その他の入居者もおしゃれをして記念撮影会が行われた。 <栄養課より行事食を提供> 昼 食：栄養課手作りの豪華な松花堂弁当（赤飯、黒陸奥の煮付け、季節の炊き合わせ、三色なます、りんごコンポート、清汁他） おやつ：紅白まんじゅう
評 価	入居者全員がお祝いの生花の前で記念写真を撮り、御馳走をいただきながら和やかな昼食会が開催された。90歳以上の長寿者の割合は53%に達した。

8. 研修

1) 内部研修

(1) 学習会

研修日	テーマ	方法	参加者数
4月18日	感染症及び食中毒、緊急・急変時の対応、褥瘡予防	講義・演習	46名
5月19日			39名
6月16日	食中毒について (ユニット会議内で実施)		(しらさぎ町) 6名
6月20日			(コスモス町) 6名
6月22日			(人形町) 7名
6月23日			(本丸町) 6名
6月25日			(せせらぎ町) 8名
6月28日			(さくら橋町) 6名
6月17日			認知症ケア(パーソン・センタード・ケア) (同日に同じ内容で2回実施)
7月20日	認知症ケア(パーソン・センタード・ケア) (同日に同じ内容で2回実施)		(1回目)16名 (2回目)15名
8月19日	虐待防止、リスクマネジメント、福祉用具 (同日に同じ内容で2回実施)		(1回目)15名 (2回目)11名
9月16日	虐待防止、リスクマネジメント、福祉用具 (同日に同じ内容で2回実施)		(1回目)11名 (2回目) 3名
9月20日	感染症、看取り介護、身体拘束		32名
10月7日	高齢者虐待防止 (同日に同じ内容で2回実施)		(1回目) 29名 (2回目) 20名
10月20日	感染症、看取り介護、身体拘束(9/20と同じ内容)		26名
11月21日	新型コロナ感染症対策、痰吸引 (同日に同じ内容で2回実施)		(1回目) 21名 (2回目) 17名
11月29日	嚥下・摂食障害 (同日に同じ内容で2回実施)		(1回目) 24名 (2回目) 19名
12月19日	新型コロナ感染症対策、痰吸引(11/21と同じ内容) (同日に同じ内容で2回実施)		(1回目) 11名 (2回目) 9名
1月19日	腰痛予防・口腔ケア		22名
2月14日			45名
2月20日	委員会活動報告、ダイバーショナルセラピー活動報告、 事故報告	講義	22名
3月20日			21名
要約	職場内講師からは、「看取り介護」「緊急時の対応」「食中毒」「感染症」「腰痛予防」「事故防止」「身体拘束」「口腔ケア」について学び、知識・技術の再確認ができた。「認知症ケア」の学習会では、グループワークを行い、他職種や他ユニット職員と認知症ケアの事例について話し合うことができた。新型コロナ感染症対策では、予防策、ゾーニング、防護具着脱訓練等を学んだ。今後も感染症の動向を注視し、発生時、迅速に対応できるように定期的に再確認をしていく。また、外部講師を招き「高齢者虐待防止」「嚥下・摂食障害」について研修を行った。「高齢者虐待防止」の研修では、「ちょこっとカンファ」(解決志向アプローチを応用したカンファレンス)の重要性を知り、「嚥下・摂食障害」については、摂食嚥下の5期モデルのどこに問題があるかを見極めることの大切さを学ぶことができた。		

(2) 1年目教育研修(介護技術研修Ⅰ)

研修日	テーマ	方法	参加者数
4月21日	非常災害時の対応(マニュアル)、高齢者食、福祉用具の活用、パーソン・センタード・ケア	講義・演習	4名
4月22日	ダイバーショナルセラピー、マイパーソナルキャリアプラン、職場の連携、身体拘束ゼロ、リスクマネジメント、「仕事の流れとマニュアルの説明」、3大介護、医療機器の説明、介護記録		4名
要約	組織や介護の知識・技術を学び、チームの一員としての基礎的介護技術を習得した。今後の自分に必要な知識や能力について考え、キャリアプランを立てることができた。		

(3) 2年目教育研修(介護技術研修Ⅱ)

研修日	テーマ	方法	参加者数
6月3日	高齢者の栄養、高齢者の尊厳、看取り介護、看護技術	講義・演習	2名
要約	吹上苑の特色である、高齢者の食事、看取り介護などをより深く学んだ。入居者の個別ケアを実現するための広い視野を持つことができた。		

(4) 法人リーダー現任教育研修

研修日	テーマ	方法	参加者数
6月24日	中堅職員として必要な考え方、スキルを身につける	講義・演習	11名
要約	外部講師に、“ちよこつとカンファ”（解決志向アプローチを応用したカンファレンス）について、グループワークを交えながら講義をしていただき、高齢者施設のリーダーとしての役割について考えることができた。		

(5) ケアプラン学習会

研修日	テーマ	方法	参加者数
7月15日	施設サービス計画書作成手順について	講義・演習	1名
7月27日	ケアプランの発表、意見交換		1名
要約	吹上苑のケアマネジメントに沿って、担当入居者のアセスメント、ケアプラン立案までを行った。アセスメントの重要性を学び、入居者の「できること」に着目したケアプランを作成することができた。		

2) 外部研修

特別養護老人ホーム・ユニット型特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所			
研修日	テーマ	主催者	参加者
5月13日 6月17日	令和4年度彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員養成研修	埼玉県社会福祉法人 社会貢献活動推進協議会	介護支援専門員
7月4日	認知症介護基礎研修	埼玉県	ケアワーカー助手
7月19～22日 (4日間)	ユニットリーダー研修「実地研修」	一般社団法人 日本ユニットケア推進センター	ケアワーカー
12月28日	令和4年度埼玉県災害派遣福祉チーム第1回スキルアップ研修	埼玉県災害福祉支援ネットワーク	ケアワーカー
2月17日	令和4年度埼玉県災害派遣福祉チーム第2回スキルアップ研修	埼玉県災害福祉支援ネットワーク	ケアワーカー
9月25日	認知症の人から見える世界	公益財団法人 認知症の人と家族の会	ケアワーカー
11月20日	令和4年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」在宅医療・施設ケア従事者版 相談員研修会	令和4年度「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」相談員研修会事務局	看護師
12月3日	コロナ下のパーソン・センタード・ケア-日々の業務の中での権利擁護	NPO法人パーソン・センタード・ケアを考える会	ケアワーカー 看護師 介護支援専門員 生活相談員
12月17日	オンライン研修「腰痛を回避する介助方法と腰痛防止対策」	公益社団法人 埼玉県理学療法士会 健康増進部事業	ケアワーカー 生活相談員
2月8日	管理・監督者のメンタルヘルスケア	一般社団法人 埼玉県社会福祉事業共助会	主任リーダー
2月11～17日 (7日間)	福祉用具プランナー認定講習	公益財団法人 テクノエイド協会	ケアワーカー
3月20日	令和4年度養介護施設・事業所従事者等向け高齢者虐待防止研修	埼玉県(福祉部地域包括ケア課)	ケアワーカー
栄養課			
新型コロナウイルス感染症拡大により中止			
デイサービス			
研修日	テーマ	主催者	参加者
7月4日	埼玉県認知症介護基礎研修	埼玉県	ケアワーカー
11月1日	要介護施設・事業所従事者等向け高齢者虐待防止研修	埼玉県	生活相談員
11月24日	交通安全意識の再認識	鴻巣警察署	運転手
あかね雲			
研修日	テーマ	主催者	参加者
7月8日	鴻巣市介護保険事業者集団指導(WEB開催)	鴻巣市健康福祉部介護保険課	管理者
11月18日	精神保健福祉研修(障がい・WEB開催)	埼玉県立精神保健福祉センター	管理者
1月17日	鴻巣市介護保険事業者連絡会	鴻巣市健康福祉部介護保険課	管理者
介護予防教室			
新型コロナウイルス感染症拡大により中止			

居宅介護支援			
研修日	テーマ	主催者	参加者
4月13日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員
4月19日	吹上圏域地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	主任介護支援専門員
5月9日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	主任介護支援専門員
5月11日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	介護支援専門員
6月8日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員
6月13日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
7月11日	吹上圏域地域、ネットワーク会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	主任介護支援専門員
7月13日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員
8月17日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	介護支援専門員
8月22日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
9月12日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	主任介護支援専門員
9月14日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	介護支援専門員
9月29日	主任介護支援専門員更新研修	埼玉県介護支援専門員協会	主任介護支援専門員
10月6日	主任介護支援専門員更新研修	埼玉県介護支援専門員協会	主任介護支援専門員
10月12日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	介護支援専門員
10月13日	主任介護支援専門員更新研修	埼玉県介護支援専門員協会	主任介護支援専門員
10月16日	介護支援専門員更新研修	埼玉県介護支援専門員協会	介護支援専門員
10月17日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
10月20日	主任介護支援専門員更新研修	埼玉県介護支援専門員協会	主任介護支援専門員
10月23日	介護支援専門員更新研修	埼玉県介護支援専門員協会	介護支援専門員
11月14日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
11月16日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員
12月14日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員
12月20日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
1月11日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員
1月16日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
2月13日	吹上圏域地域、ネットワーク会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
2月15日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員
3月13日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	主任介護支援専門員
3月15日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員

地域包括支援センター			
研修日	テーマ	主催者	参加者
6月20日	令和4年度埼玉県キャラバンメイト養成研修	埼玉県福祉部地域包括ケア課	看護師
10月7日	虐待防止研修	社会福祉法人えがりて	主任介護支援専門員 看護師、社会福祉士
10月26日	認知症対策の重要性とその方法	NPO法人埼玉成年後見支援センター	社会福祉士
11月1日	暮らしを守る高齢者権利擁護を知る	明治大学専門大学院法務研究科	看護師
11月4日	埼玉県重層的支援体制整備事業研修	埼玉県福祉部地域包括ケア課	主任介護支援専門員 社会福祉士
12月16日	令和4年度埼玉県キャラバンメイト養成研修	埼玉県福祉部地域包括ケア課	社会福祉士
1月24日	令和4年度定期巡回随時対応サービス活用セミナー	埼玉県福祉部地域包括ケア課	社会福祉士
1月31日	令和4年度鴻巣市生活支援体制整備事業合同研修	鴻巣市社会福祉協議会	主任介護支援専門員
2月7日	鴻巣市地域共生セミナー	鴻巣市福祉課	看護師 社会福祉士
2月16日	令和4年度高齢者虐待対応専門員フォローアップ研修	埼玉県福祉部	社会福祉士
3月3日	令和4年度鴻巣保健所在宅難病患者支援研修会	埼玉県福祉部	社会福祉士
3月3日	令和4年度高次脳機能障害に関する医療と福祉の連携	埼玉県福祉部	社会福祉士
3月9日	令和4年度認知症ケア向上研修	鴻巣市認知症地域支援推進員	主任介護支援専門員 社会福祉士
3月16日	「適切なケアマネジメント手法」普及推進セミナー	株式会社日本総合研究所	主任介護支援専門員

3) 雑誌・新聞掲載

雑誌・新聞名	内容	発行所	執筆者
協会ニュース 2023年4月	介護施設の看護管理者のチカラ 暮らしの中で質の高いケアを	公益社団法人日本看護協会	施設長(関口)

9. 会議

1) 運営会議、防災・災害対策検討会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月13日	1.令和4年度事業計画・予算について 2.法人内事業所の運営規程変更について 3.内部監査について 4.特養入居者の歯科検診について	12月14日	1.社会福祉施設等指導監査の結果について 2.コンチネンスケアサポート委員会終了について 3.抗原検査(埼玉県より配付)について 4.配膳車の購入について
5月11日	1.LIFEについて 2.日中想定洪水時非難訓練について 3.本館の夜勤勤務時間について 4.第10回夢のふっきい祭について	1月11日	1.令和5年度事業計画(案)と予算(案)について 2.新型コロナ感染対策について 3.ガラス越し面会について
6月15日	1.令和4年度第1回理事会報告について 2.豪雨時の止水板の活用について 3.令和3年度決算報告について 4.介護施設・事業所における業務継続計画について	2月15日	1.新型コロナ感染対策について 2.令和5年度親睦会の運営について 3.法人の経営状況と令和5年度予算について 4.週休3日制の取組事例について
7月13日	1.今年度黒字達成のための方針について 2.本館の雨漏り修繕について 3.アルコール検知器の活用について 4.第10回夢のふっきい祭について	3月15日	1.感染対策シートの活用について 2.令和5年度事業計画(案)について 3.エアコン24時間稼働中の設定温度について 4.令和4年度高齢者施設実地指導状況について
8月10日	1.令和4年度洪水時非難訓練について 2.止水板設置訓練について 3.リスクマネジメント委員会の開始について 4.虐待防止検討委員会の開始について	共通議題	・新型コロナウイルス感染症について
9月14日	1.特養・ショートステイ記録システムの変更について 2.青空面会の再開について 3.敬老会の開催について 4.ベースアップ等支援加算説明会の開催について	要約	昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症(第7波・第8波)に翻弄された1年だった。毎回、新型コロナを議題に挙げ、法人内で統一した対応を心掛けた。また、在宅サービス(通所系や短期入所系)の利用控えや新規利用者の減少などによる経営状況の悪化や対応策について話し合った。他にも、洪水対策として止水板の導入、リスクマネジメント委員会や虐待防止検討委員会の創設、新たに介護職員等ベースアップ等支援加算、食材費の相次ぐ値上げ、電気代の高騰対策などについて話し合うことができた。
10月12日	1.第2回理事会報告について 2.抗原検査キッド配付について 3.社会福祉施設等指導監査(実地)を終了して 4.書類ゴミの廃棄について		
11月16日	1.新型コロナ感染対策について 2.経済効率の良いエアコンの使用方法について 3.令和4度訪問看護実習について 4.吹上苑経営状況について		

2) 感染対策会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月13日	1.新型コロナの現状について(オミクロン株BA.2) 2.食中毒等について 3.各部署からの報告や質問について 4.その他	2月15日	1.ショートステイで発生したクラスターの経緯について 2.さくら橋町の陽性者について 3.3月13日以降の新型コロナ感染対策について 4.その他
6月22日	1.ショートステイ感染発生の経緯について 2.感染経路について 3.感染対策の緩みについて 4.無料でできる検査機関一覧 5.その他	3月9日	1.これからの社会の動きについて 2.施設内ゼロコロナを目指すための対策について 3.濃厚接触者・職員発熱時の対応について 4.利用者感染時の対応について 5.その他
9月8日	1.新型コロナ陽性者の自宅療養期間短縮について ①有症状の場合 ②無症状の場合 ③症状が続く場合 ④その他変更事項について 2.濃厚接触者について 3.各部署の状況報告について 4.その他	要約	コロナ禍も3年目に入った。オミクロン株が猛威を振るい、第8波では、ウイルスの感染力が増し、家庭内で感染が広がった。また、若年層は感染しても軽い症状で済むが、高齢者が感染すると重篤になることが分かった。入居者は令和4年12月に5回目のワクチン接種を行ったが、年末に施設内でクラスターが発生。日本全国で感染爆発が起き、医療機関での受け入れがストップしたため、施設内で療養せざるを得なかった。今回の経験を教訓として、これからの感染対策について話し合った。
1月11日	1.さくら橋町で発生したクラスターの経緯について 2.感染経路について 3.保健所の対応について 4.介護3以上の利用者が感染した場合について 5.これからの新型コロナ対策について 6.その他		

3) 栄養会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月13日	1.令和3年度給与栄養量について 2.とろみについて	11月16日	1.汁の具の大きさについて
5月11日	1.令和3年度栄養素充足率と確認事項 2.下膳について	12月14日	1.おせち料理について 2.やわらか素材の試食
		1月11日	1.食材費と食物繊維・ゼラチンについて
6月15日	1.嗜好調査について 2.手洗い方法、手洗いチェッカーを使用して	2月15日	1.食材費について 2.薄皮パンについて
7月13日	1.衛生管理について ATP・AMPふき取り検査	3月15日	1.摂食嚥下調整食について
8月10日	1.食事嗜好調査結果報告(特養)	共通議題	・給与栄養量について ・食事についての意見交換(検査簿・ユニットから) ・翌月の予定献立について
9月14日	1.ペースト食のおやつアンケートについて		
10月12日	1.日本食品標準成分表2020年度版(八訂)について		
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署の感想から課題を見つけ、「食材」「仕込み」「保温方法」等について改善することができた。 ・試食や試飲を実施し、より食べやすい切り方、食材を選択することができた。 		

4) 経営改善会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月4日	1.法人全体・各事業所別収入状況について	12月5日	1.現在の経営状況と今後の経営について
6月6日	1.令和3年度決算について	共通議題	・各事業所別運営状況について ・各事業所の現状報告について ・介護支援専門員からのアドバイス
8月1日	1.法人の経営状況について		
10月3日	1.法人の経営状況について		
要約	<p>この会議は、新型コロナによる在宅サービス(通所系や短期入所系)の利用控えや新規利用者の減少で、経営状況が著しく悪化したことにより、このままでは経営が立ち行かなくなるという危機感から、経営改善のために立ち上げた。会議では、①利用率を上げ、加算を取得し、収入を増やす、②適切な職員数で人件費を増やさず支出を抑えることを互いに確認し合った。委員の法人内ベテラン介護支援専門員から、「吹上苑は地域に根付いているため、以前は指名も多かったが、今は減少している。改善策として、1.地域の介護支援専門員に指名してもらえよう、事業所のアピールが必要。2.最近はリハビリに特化したデイが増えていて、大変人気がある。吹上苑のサービス内容は新しい高齢者のニーズにできていない。」と指摘された。これを受け、利用者・家族から選ばれるサービスについて話し合い、新サービスを検討した。会議で検討したことが功を奏し、令和4年春から秋にかけて利用率が上昇したが、冬に入り再び新型コロナの感染拡大に見舞われた。</p>		

5) 特養リーダー会議

開催日	報告・検討事項
4月14日,6月9日,8月11日,10月13日,12月8日	1.ユニットからの報告 2.検討議題 3.各部署からの連絡 4.その他
要約	各ユニットから現状を報告し、検討議題については多職種で意見を出し合い、課題解決に向けて取り組むことができた。

6) ユニット型特養リーダー会議

開催日	報告・検討事項
5月12日,7月14日,9月8日,1月14日,3月9日	1.ユニットからの報告 2.検討議題 3.各部署からの連絡 4.その他
要約	入居者の情報を共有するため、日中・夜間帯入居者の特記事項などを確認した。物品の使用方法や申し送り事項を統一し、業務を改善することができた。

7) ダイバーショナルセラピー運営会議

開催日	報告・検討事項	要約
9月8日	1.令和4年度活動中間報告 2.その他	各ダイバーショナルセラピーの委員長が、活動内容や入居者の様子、下半期の予定や目標などを発表し、情報を共有した。

8) ショートステイ業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月27日	1.業務について(食事介助の時間について等)	2月24日	1.業務について(フローシートの記入について等)
5月27日	1.業務について(シフトについて等)	3月19日	1.業務について(新型コロナ感染対策について等)
7月9日	1.業務について(食中毒対策について等)	共通議題	・ケアカンファレンス ・各部署からの連絡 ・運営会議の報告 ・委員会からの報告
8月9日	1.業務について(新型コロナ感染対策について等)		
9月7日	1.業務について(食事介助について等)	要約	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のケアを中心に話し合い、情報を共有することができた。 ・業務の問題点について職員間で意見を交換し、その都度改善していくことができた。
10月17日	1.業務について(高齢者虐待防止について等)		
11月11日	1.業務について(服薬介助について等)		
12月12日	1.業務について(リフトの使用について等)		
1月13日	1.業務について(夜勤対応について等)		

9) 特養・ショートステイ短時間勤務職員業務改善会議

開催日	報告・検討事項		
9月6日	1.新型コロナウイルス感染対策について 2.入居者の脱水・熱中症対策について 3.食中毒について 4.業務についての意見交換 5.その他	要約	昨年度と同様のテーマでより具体的に、看護課、栄養課の担当者から講義を受けた。感染症、脱水、熱中症、食中毒について情報を共有し、知識を深めることができた。意見交換では、業務上での悩みや疑問について、専門職から助言を受けることができた。

10) 看護課業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月26日	1.報告、検討、行事 2.その他(看取りケアのパンフレット作成について)	11月29日	1.報告、検討、行事 2.その他 (5回目新型コロナワクチン接種へ向け手技の確認)
5月16日	1.報告、検討、行事 2.その他 (訪問歯科検診について、看取りパンフレットについて)	12月14日	1.報告、検討、行事 2.その他(利用者の体調管理について)
6月24日	1.報告、検討、行事 2.その他 (ショートステイ新型コロナ感染者3名、感染対策の見直し)	1月22日	1.報告、検討、行事 2.その他(来年度に向け各種書類の見直し)
7月14日	1.報告、検討、行事 2.その他 (4回目の新型コロナワクチン接種について)	2月19日	1.報告、検討、行事 2.その他(新型コロナ感染対策を振り返り)
8月12日	1.報告、検討、行事 2.その他 (新型コロナ感染対策の見直し、周知すべきこと)	3月28日	1.報告、検討、行事 2.その他(来年度に向け業務改善について)
9月26日	1.報告、検討、行事 2.その他(青空面会時の家族への対応)	要約	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナによるクラスターが発生し、利用者や職員に感染が拡大した。この経験から、換気や消毒の徹底が一番大切だと学んだ。今回の反省点は、今後の対策につなげていきたい。 ・今年度も、介護職員を対象にゾーニングや防護服の着脱などの研修を実施した。
10月28日	1.報告、検討、行事 2.その他(インフルエンザ予防接種の問診票配布)		

11) 栄養課業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月22日	1.とろみについて 2.5月から変わる作業について	2月17日	1.食材費とミニパンについて 2.来年度のお菓子作りの順番について
5月23日	1.令和3年度栄養素充足率とまとめ 2.ふっきい祭について	3月17日	1.食材費の節約方法について 2.令和5年度事業計画について
6月29日	1.嗜好調査について 2.ジュレの作り方について	共通議題	<ul style="list-style-type: none"> ・大量調理衛生管理マニュアルの読み合わせ ・ATP・AMPふき取り検査の実施と衛生状況の報告 ・報告:毎月の食材費の状況、栄養会議、運営会議、各種委員会の状況報告 ・業務内容の確認 ・検討:ヒヤリハットの報告と検討、日頃の業務の見直し検討、献立に関する意見交換
8月19日	1.嗜好調査について 2.ペースト食の方でも食べられるおやつについて		
9月27日	1.洪水時に避難させる機器類とその場所について 2.10月から変わる作業について		
10月18日	1.感染拡大時、災害時の対応について 2.昼食の洗浄について	要約	<ul style="list-style-type: none"> ・中央配膳によって増えた盛り付けや洗浄などの作業については、皆で意見を出し合い、工夫することで、こなせるようになった。 ・食材費を抑えるべく、既製品から手作りにするなど、無駄をなくす工夫を話し合うことができた。 ・感染拡大時の対応を話し合うことができた。
11月24日	1.食材費の節約方法について 2.汁の具の大きさについて		
12月16日	1.おせち料理について 2.温蔵庫、温冷配膳車など機器類について		
1月19日	1.食材費と食物繊維、ゼラチンについて 2.下膳の際に気をつけてもらいたいことについて		

12) デイサービス業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月14日	1.業務について(前月の振り返り:万歩計の置き場) 2.連絡事項(新サービス、職員の新体制について)	2月16日	1.連絡事項(利用者の意識消失、送迎時急変時の対応について)
5月19日	1.連絡事項(月間報告書、虐待防止、実習生等について)	共通議題	・運営会議より・翌月の活動予定・ケアカンファレンス ・前月カンファの経過報告・看護師からの連絡事項
6月16日	1.連絡事項(事業報告、人手不足時の業務担当等について)	要約	・利用者の状態変化について話し合うことができた。 ・今年度から始まった新サービスの運用方法を検討した。 ・業務時間内で話し合うことができたため、会議を実施しない月もあった。
9月15日	1.業務について(楽々レク、大人の脳トレの評価) 2.連絡事項(電話対応等について)		
10月20日	1.業務について 2.連絡事項(社会保険加入条件等について)		
1月19日	1.連絡事項(介護助手業務会議の報告、利用者の処置・入浴、抗原検査の報告等について)		

13) デイサービス介護助手業務会議

開催日	報告・検討事項		
1月13日	1.連絡事項 (新型コロナウイルス感染状況、節電等について) 2.意見交換	要約	・新型コロナ感染対策の注意喚起や、体調不良時は無理せずに休んで欲しいと伝えた。 ・日頃の業務を通じて気になる点について意見交換を行った。

14) あかね雲業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月21日	1.新規利用者を増やすために 2.新しく提供するサービスについて 3.令和4年度事業計画について	12月28日	1.業務について(利用者の見守り方・関わり方) 2.電気代の節約について 3.学習会「感染症対策」
6月16日	1.運営方法の見直しについて 2.新規利用者の対応について 3.新しい職員について	2月28日	1.業務について(エプロンの洗濯) 2.新規利用者の対応について 3.来年度の業務担当について
8月30日	1.感情コントロールが難しい利用者への対応 2.新規利用者の対応について 3.経費削減について	要約	・利用者の個別の対応については、ケアカンファレンスで話し合い、情報共有を行った。 ・発生した「苦情・事故ヒヤリハット」の検討を行い、情報の共有と対応について意見交換を行った。 ・新型コロナ感染対策を定期的に話し合った。
10月28日	1.皮膚観察について 2.業務見直しについて(洗剤などの置き場変更) 3.新規利用者の対応について 4.学習会「高齢者虐待について」		

15) あかね雲運営推進会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
書面開催 7月27日	1.令和4年度事業計画について	書面開催 2月22日	1.新型コロナ感染対策について
共通議題	・活動状況報告、苦情・事故報告・委員との意見交換		
要約	・新型コロナ感染対策のため、書面による情報提供・報告を行い、意見等の集約を行った。 ・各委員から、多くの意見や要望が寄せられた。		

16) 介護予防教室業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月19日	1.令和4年度の事業計画 2.メニュー内容の確認(体幹トレーニング・3Aメニュー等) 3.体力測定の結果報告	12月21日	1.業務内容の確認(大掃除・勤務体制・CO2濃度測定器) 2.メニュー内容の確認(体幹トレーニング等) 3.勉強会(音楽レクの練習)
5月17日	1.業務内容の確認(管理日誌等帳票類の見直し) 2.メニューの確認(体操メニュー・体幹トレーニング等)	1月18日	1.来年度の事業計画と予算要望書作成の検討 2.4月からの職員体制 3.業務内容の確認(抗原検査・フロア物品移動等) 4.体力測定の結果報告
6月21日	1.業務内容の確認(とくし丸の対応・外出行事等) 2.新メニューの提案(口腔体操・吹上音頭等)		
7月20日	1.業務内容の確認(公用車廃車・飲酒測定器等) 2.体力測定の結果報告 3.らららん記事の検討と作成	2月21日	1.業務内容の確認 (役割分担・勤務時間・送迎時対応・手摺り消毒等)
8月17日	1.業務内容の確認(飲酒測定器トラブル等) 2.浸水時避難の対応 3.らららん記事の作成	3月14日	1.スタッフ病欠時の業務内容の確認 2.利用者状況の確認 3.企画(花見)の確認 4.勉強会(新メニューの確認)

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
9月21日	1.業務内容の確認(歌詞カード整理・お茶・送迎車等) 2.栄養指導(食事バランスチェック)の研修 3.勉強会(音楽レクDVD視聴と練習)	共通議題	・運営、栄養会議の報告・利用者の情報共有
10月18日	1.業務内容の確認(お茶提供・車送迎・外出行事等) 2.メニュー内容検討(体幹トレ・音楽レク等) 3.体力測定の結果報告	要約	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者と終了者の入れ替わりが激しく、長期休みの利用者も多いため、情報共有の重要性が増した。 ・既存メニューは、内容を再検討することで、より良い方法を組み立てることができた。 ・新型コロナの影響で研修には参加できなかったが、本やネットやDVD等で自己研鑽をし、業務に反映することができた。
11月15日	1.業務内容の確認(湯飲み・担当者の確認) 2.食事バランスシートチェックの評価 3.勉強会(音楽レクの練習)		

17) 居宅ケアマネ業務会議

開催日	報告・検討事項
4月4日,15日,23日,29日,5月4日,12日,20日,27日 6月3日,11日,15日,20日,27日,7月5日,14日,19日,25日 8月3日,12日,19日,23日,9月1日,8日,15日,21日,27日 10月7日,11日,22日,29日,11月3日,8日,19日,24日,28日 12月6日,12日,22日,30日,1月5日,14日,21日,26日,31日 2月8日,17日,24日,3月5日,9日,18日,23日,30日	<ul style="list-style-type: none"> ①現に抱える処遇困難ケースについての具体的処遇方針 ②過去に取り扱ったケースについての問題点及びその改善方針 ③地域における事業者や活用できる社会資源の状況 ④保健医療及び福祉に関する諸制度 ⑤ケアマネジメントに関する技術 ⑥利用者から苦情があった場合は、その内容及び改善方針
要約	新規利用者の受け入れや困難時の訪問、相談等では感染対策を徹底して行い、コロナ禍でも利用者の生活を支えることができた。

18) 地域包括支援センター業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月9日 28日	1.包括業務について (今年度の予定、家族介護者教室)	12月6日	1.包括業務について (実地指導、自立支援型地域ケア会議等)
5月7日 21日	1.包括業務について (家族介護者教室、ケアマネ研修、新型コロナ感染症について等) 2.インフォーマルサービスの情報共有	1月19日	1.包括業務について (ネットワーク会議、年始の挨拶) 2.インフォーマルサービスの情報共有
6月13日	1.包括業務について (ネットワーク会議、自立支援型地域ケア会議) 2.研修報告	2月6日 25日	1.包括業務について (ネットワーク会議、来年度の目標、備品購入、来年度の役割分担等) 2.研修報告
7月5日 19日	1.包括業務について (ネットワーク会議、運営推進会議、実習生等) 2.研修報告 3.インフォーマルサービスの情報共有	3月11日	3.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有
8月8日	1.包括業務について (包括型自立支援型地域ケア会議、人事等) 2.研修報告		1.包括業務について (感染症対策、自立支援型地域ケア会議、担い手募集についての検討等) 2.研修、会議報告 3.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有
9月12日 21日	1.包括業務について (認知症サポーター養成講座、アンケート等) 2.研修報告、会議報告 3.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有	共通議題	<ul style="list-style-type: none"> ・困難事例の経過報告と共通理解 ・新規の相談者の共有
10月17日	1.包括業務について (認知症サポーター養成講座、家族介護者教室等) 2.インフォーマルサービスの情報共有	要約	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や教室は、参加人数の調整や検温・消毒等の感染症対策を万全に行うことで、コロナ禍だが全て開催することができた。 ・新型コロナにより職員の勤務状況にも影響が出たが、適宜業務の役割分担と情報共有を行い、滞りなく、相談対応を行うことができた。 ・インフォーマルサービスの情報共有と整理を行い、随時更新することができた。
11月5日 19日	1.包括業務について (包括型自立支援型地域ケア会議、地区担当分担、来年度の予定等) 2.研修報告 3.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有		

19) 吹上地域ネットワーク会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
7月11日	鴻巣地域包括支援センター吹上苑実績報告 吹上圏域のネットワーク構築についての意見交換 (在宅診療、緊急通報システム、移動支援等について)	2月13日	吹上圏域のネットワーク構築に関する意見交換 情報提供(免許返納、詐欺、移動スーパー、郵便局、 地域の食事会、リブサポートネット等について)
要約	感染症対策を実施し、座席配置等を工夫して開催。郵便局との連携や見守りシステム、免許返納、地域共生課の新事業等について意見交換や情報共有ができた。		

10. 委員会

1) 苦情解決委員会

開催日	要約	今年度から新しい第三者委員をお迎えして開催した。寄せられた苦情について意見を出し合い、検討を十分に行った。「コロナ禍の面会の在り方」「ショートステイ利用時の持参薬のルール作成」「送迎中の運転マナー」などについて話し合い、サービス向上につなげることができた。
4月28日,10月27日		
共通議題		
1.前回から現在までの苦情状況について		
2.苦情のヒヤリハットケースの検討について		
3.苦情ケースの検討		
4.改善すべきことや明らかになったこと		
5.その他		

2) 虐待防止検討委員会

開催日	要約	運営基準が変更され、虐待防止検討委員会の設置が義務化となり、昨年度より法人内の全サービス合同開催での委員会(年2回)を発足させた。発足から間もないため、委員会の役割について認識してもらえよう働きかけた。
4月13日,10月12日		
共通議題		
1.虐待防止検討委員会の役割について		
2.虐待と思えるような事例の有無について		
3.法人内各部署職員のストレス状況について		

3) 身体的拘束適正化委員会

開催日	共通議題
4月14日,5月12日,6月9日,7月14日,8月18日,9月8日 10月13日,11月10日,12月8日,1月12日,2月9日,3月9日	1.身体拘束の現状について 2.その他
要約	施設長、看護課主任リーダー、特養主任リーダー、ショートステイ主任リーダー、特養ケアワーカーのリーダー、特養生活相談員、特養介護支援専門員で開催。情報共有・意見交換を行い、身体的拘束適正化についての理解を深め、施設内で研修を実施し、職員への周知徹底に努めた。

4) 特養優先入所検討委員会

開催日	参加者	第三者委員、施設長、特養介護支援専門員、特養生活相談員、特養主任リーダー、看護課主任リーダー、栄養課主任リーダー、ショートステイ主任リーダー、デイサービス生活相談員、居宅介護支援専門員、包括主任介護支援専門員
4月14日,5月12日,6月9日,7月14日,8月18日,9月8日 10月13日,11月10日,12月8日,1月12日,2月9日,3月9日		
共通議題		
1.入退居者の近況報告		
2.入居希望者の現状について		
3.次期入居予定者について		

5) ユニット型特養優先入所検討委員会

開催日	参加者	第三者委員、施設長、特養介護支援専門員、特養生活相談員、ユニット型特養主任リーダー、看護課主任リーダー、栄養課主任リーダー、ショートステイ主任リーダー、デイサービス生活相談員、居宅介護支援専門員、包括主任介護支援専門員
4月14日,5月12日,6月9日,7月14日,8月18日,9月8日 10月13日,11月10日,12月8日,1月12日,2月9日,3月9日		
共通議題		
1.入退居者の近況報告		
2.入居希望者の現状について		
3.次期入居予定者について		

6) 衛生委員会

開催日	要約	今年度も新型コロナウイルス感染症が議題の中心になった。感染対策に重点を置き、新型コロナの新しい情報提供、職員に症状がある場合や家族が濃厚接触者になった場合の検査方法・受診方法・休みの取り方などについて話し合うことができた。
4月13日,5月11日,6月15日,7月13日,8月10日,9月14日 10月12日,11月16日,12月14日,1月11日,2月15日,3月15日		
産業医参加		
4月26日,5月19日,6月28日,9月29日 10月11日,1月26日,2月28日,3月23日		
共通議題		
1.職員の健康状態について		
2.新型コロナウイルス感染症関連について		
3.新型コロナ感染対策について		

7)医療安全委員会

開催日	議題	開催日	議題
11月21日	1.今後の特定行為実施対象者について 2.特定行為の研修について 3.その他	12月19日	1.今後の特定行為実施対象者について 2.特定行為の研修について 3.その他
要約	実技研修は中止し、吸引機の使い方について、グループごとに看護師が付き添い、準備するところからマニュアルに沿った対応ができていくかまでを確認した。夜間のオンコール対応時、介護職員が事前に吸引機の準備をしてくれるようになった。		

8)マニュアル見直し委員会

開催日	議題	要約
9月14日,3月15日	共通議題	誤薬防止のため服薬マニュアルを見直し、特養においてもユニット型特養と同様、薬ケースに入居者の顔写真を貼り付けることにした。また、ハラスメントマニュアルを見直し、ハラスメントの窓口を周知した。
1.マニュアル見直しについて 2.その他		

9)褥瘡予防対策委員会

開催日	共通議題
4月13日,7月13日,10月12日,1月11日	1.褥瘡及び合併する感染症の予防体制の確立について 2.介護予防に関する情報収集や用具などについて 3.施設内で報告のあった褥瘡の事例の対応策について 4.褥瘡の為のマニュアル類について 5.褥瘡予防に関する研修の実施について 6.褥瘡の発生予防の為に必要な事項について
要約	・看護課と多職種(特に福祉用具活用委員会)が協力し、褥瘡の処置や予防に対する情報の共有や意見交換ができた。褥瘡発生時は早期改善に向け、ベッドマットや車いす、ポジショニングクッションの検討を行った。 ・利用者にとって苦痛である褥瘡の予防や改善に努めることができた。

10)リスクマネジメント委員会

奇数月:特養 偶数月:ユニット型特養

開催日	議題	開催日	議題
4月28日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(3月～4月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の立案について 4.事故の再発防止策の職員全体への周知について 5.前回の委員会で話し合われた再発防止策の評価について 6.その他	10月27日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(9月～10月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の検討と対策について 4.職員全体への事故再発防止策の周知の必要性について 5.前回の委員会で話し合われたケースの対応策の評価について 6.その他
6月23日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(5月～6月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の立案について 4.事故の再発防止策の職員全体への周知について 5.前回の委員会で話し合われた再発防止策の評価について 6.内出血発見時のヒヤリハット報告書作成基準について	11月24日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(10月～11月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の立案について 4.事故の再発防止策の職員全体への周知について 5.前回の委員会で話し合われた再発防止策の評価について 6.その他
7月28日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(4月～7月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の立案について 4.事故の再発防止策の職員全体への周知について 5.前回の委員会で話し合われた再発防止策の評価について 6.内出血発見時のヒヤリハット報告書作成基準について	12月22日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(11月～12月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の検討と対策について 4.職員全体への事故再発防止策の周知の必要性について 5.前回の委員会で話し合われたケースの対応策の評価について 6.その他

開催日	議題	開催日	議題
8月25日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(7月～8月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の立案について 4.事故の再発防止策の職員全体への周知について 5.前回の委員会で話し合われた再発防止策の評価について 6.その他	2月23日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(1月～2月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の検討と対策について 4.職員全体への事故再発防止策の周知の必要性について 5.前回の委員会で話し合われたケースの対応策の評価について 6.その他
9月22日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(8月～9月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の立案について 4.事故の再発防止策の職員全体への周知について 5.前回の委員会で話し合われた再発防止策の評価について 6.その他	3月23日	1.介護事故・ヒヤリハット報告について(2月～3月) 2.事故の原因分析について 3.事故の再発防止策の立案について 4.事故の再発防止策の職員全体への周知について 5.前回の委員会で話し合われた再発防止策の評価について 6.その他
要約	事故の原因や要因を詳細に分析した。集められた情報を基にPDCAサイクルを活用し、再発防止策について職員への周知徹底を図った。		

11) 福祉用具活用委員会

開催日	共通議題
4月28日,6月23日,7月28日,8月25日,9月22日 10月27日,11月24日,12月22日,2月23日,3月23日	1.福祉用具活用について 2.連絡事項
要約	福祉用具の効果的な活用方法について、意見交換・情報共有を行った。施設内で研修を実施し、安全性に配慮した福祉用具の活用方法について周知した。また、福祉用具による事故を防ぐため、定期的に点検や清掃を行い、不具合があるものは迅速に対応した。

12) 認知症ケア委員会

開催日	議題	開催日	議題
4月8日	1.今年度の活動、学習会、「認知症ケア委員会より」の担当月について 2.4月ユニット会議の「認知症ケア委員会より」について	12月9日	1.ユニット会議の「認知症ケア委員会より」に対する職員のリアクションについて 2.今までの「認知症ケア委員会より」をまとめた小冊子について 3.12月3日に受けた研修について
6月10日	1.6月、7月学習会の時間配分について 2.グループワークの始め方について		
8月12日	1.ユニット会議で伝える内容について 2.吹上苑で良いケアを見つけたときの共有方法について	2月10日	1.2月20日の委員会活動報告について 2.来年度について
10月21日	1.9月25日の研修で学んだことについて ユニットへの伝達方法について 2.11月、12月のユニット会議で伝えることについて 3.アンケートについて	要約	オンライン研修を受講し、認知症介護の当事者の思いやコロナ禍での認知症ケアについて学ぶことができた。6月と7月に「パーソン・センタード・ケア」と「悪性の社会心理」について、研修を実施した。グループワークを行い、自分自身のケアを振り返ることができた。

13) コンチネンスケアサポート委員会

開催日	議題	要約
4月11日	1.昨年度の活動報告 2.今年度の活動について 3.その他	個々の入居者に適したオムツの選定、適切な排泄ケア、技術を学び、職員のスキルアップにつながった。令和4年度をもって委員会は終了となるが、今後も担当者が中心となり、適切な排泄ケアに取り組む。
9月12日	1.各ユニットの中間評価 2.今後のマイスター検定について 3.その他	
3月13日	1.活動報告 2.エルモアの価格改定・発注・納品日、今後の本館、新館納品場所について 3.その他	

14)ダイバーショナルセラピー委員会

開催日		要約	実施した活動をフィードバックし、意見交換を行った。ダイバーショナルセラピーの4本柱の一つである「チョイス」の実践が定着化したため、活動の幅が広がった。
7月22日,9月23日,11月25日,3月24日			
共通議題			
1.各ユニットの進捗状況 2.次回のルームビジット担当 3.その他			

15)パドル体操委員会

開催日		共通議題	
ショート	4月7日,15日,21日,5月6日,13日,19日	1.当月の振り返り 2.翌月のプログラム(テーマや準備の確認等)	
	6月2日,10日,16日,7月7日,15日,21日		
	8月4日,12日,18日,9月1日,9日,15日		
	10月6日,14日,20日,11月3日,11日,17日		
	12月1日,9日,15日,1月5日,13日,19日		
	3月2日,10日,20日		
あかね雲	4月14日,5月12日,6月9日,7月14日		
	8月11日,9月8日,10月13日,11月10日		
	12月8日,1月16日,2月9日,3月9日		
特養	4月14日,5月12日,6月9日,7月14日,10月13日		
	11月10日,12月8日,1月26日,3月9日		
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ、あかね雲は講師を招いて実施。ショートステイは、2月は新型コロナによるクラスターが発生したため中止。 ・特養は職員で実施。特養は、8月・9月・1月・2月は新型コロナ第7波・第8波の感染がピークになり中止。 		

16)苑内喫茶 花*花委員会

開催日		共通議題	
4月3日,5月1日,6月5日,8月14日		1.運営方法	
9月4日,10月2日,11月6日		2.感染対策の徹底	
要約	新型コロナ感染対策として、特養利用者へのみの参加とし、席の間隔を空け、アルコール消毒を徹底した。7回実施し、季節を感じられるおやつを提供できた。		

17)書道教室委員会

開催日		共通議題	
4月17日,5月15日,6月19日,7月17日,9月18日		1.当月の振り返り	
10月16日,12月18日,2月19日,3月19日		2.道具の管理について	
要約	毎月季節に合わせたお手本を用意し、その中から書きたいものを入居者が選択した。ひとり一人思いを込めて、作品を仕上げることができた。入居者・職員ともに活動の時間を楽しむことができた。		

18)栄養課出張寿司委員会

開催日	議題	開催日	議題
9月13日	ショートステイ 日程、食数、食種、座席の確認	12月23日	コスモス町・本丸町 日程、食数、食種、座席の確認
10月21日	デイサービス 日程、食数、食種、座席の確認	1月25日	せせらぎ町 日程、食数、食種、座席の確認
11月5日	あかね雲 日程、食数、食種、座席の確認	3月7日	人形町・しらさぎ町 日程、食数、食種、座席の確認
要約	普段、外食に行けない利用者へ、寿司屋さんへ行った気分になって、寿司を楽しんでいただいた。2月に予定していたさくら橋町は、感染拡大防止の観点から中止とした。		

11. ダイバーショナルセラピー (DT)

パドル体操	
テーマ (目的)	笑いのある人生を！ パドルをあらゆる方法で使い、体に無理なく楽しく体操をする。 曲に合わせて身体を動かすことで免疫力を高める。 笑いながら(笑顔で)行うことでストレスを解消する。
開催日等	ショートステイ:毎月第1木曜日・第2金曜日・第3木曜日 あかね雲:毎月第2木曜日 14:00～15:00
概要	パドルを使い、童謡や季節に合わせた曲で、講師の指導のもと、楽しく笑顔で体操を行う。
講師 ボランティア	外部講師1名
対象者	ショートステイ利用者、あかね雲利用者
成果	今日はパドル体操がありますよと伝えると、「頑張らなくちゃ」とやる気になり、田島先生がお見えになると、拍手が起り、笑顔で手を振っていた。季節ごとに曲を変えて体操を行うと、「懐かしい歌だね」と利用者同士の会話も増え、歌を歌いながら楽しそうに参加されていた。

苑内喫茶 花＊花	
テーマ (目的)	ゆっくりとお菓子と飲み物をいただきながら、楽しい時間が過ごせる。
開催日等	4月、5月、6月、8月、9月、10月、11月の第1日曜日 13:30～15:00
概要	<ul style="list-style-type: none"> 会議室を喫茶店風に模様替えして実施。テーブルには季節の花や装飾品を飾り、童謡やジャズなどのBGMとコーヒーの香りで喫茶店の雰囲気を出す。 メニューは数種類の飲み物と、季節を感じられる栄養課手作りのお菓子を用意する。 ひとりでゆったりとした時間を過ごされる方、久しぶりに会った方と笑顔で挨拶する方、お話を楽しまれる方など、自由に過ごしてもらえ場所を提供する。
対象者	特養入居者、ユニット型特養入居者
成果	新型コロナ感染対策のため、1テーブル2名までとし、アルコール消毒を徹底した。毎回40名程が来店され、思い思いに寛いでいる様子が見られた。喫茶店に出かける楽しみ、メニューから好きな飲み物を選ぶ楽しみ、季節の手作りお菓子を味わう楽しみ、窓から見える景色や天気について語り合う楽しみなど、花＊花を通して、色々な楽しみのきっかけを提供することができた。また、来店できない方にも、お菓子と飲み物をユニットまで届け、楽しんでいただくことができた。

書道教室	
テーマ (目的)	<p>静かな環境の中で、文字を書くことを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆の感触、墨の香りに懐かしさを感じる。 作品の出来栄に一喜一憂する。 文字を通して笑顔になる。
開催日等	毎月第3日曜日 14:00～15:00
概要	<ul style="list-style-type: none"> お手本を参考に作品を完成させる。 1枚書き上げる度に、赤筆で丸をいただく。 正面玄関に作品を展示する。
対象者	特養入居者、ユニット型特養入居者
成果	昨年度同様、新型コロナ感染対策により、講師、ボランティア不在のため、職員が講師を務めた。初めての方から毎月楽しみされている方まで、毎回十数人が参加された。時季に合わせて用意したお手本の中から書きたいものを選び、納得いくまで、繰り返し挑戦される方や、お手本を使わずに、自分の心の赴くままを文字にして書き表す方など、様々だったが、普段とは違った環境に身を置き、書を通して自身と向き合う凝縮された時間を過ごしていただいた。作品は正面玄関に展示して、皆さんに見ていただいた。

ルームビジット	
テーマ (目的)	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだユニットの入居者と一緒に身体を動かし、好きな曲を歌い、心身をリラックスさせる。 身体機能が低下し、居室で過ごす時間が長くなりがちな入居者には、心身のストレスの緩和を中心とした活動をするため、居室を訪室して一緒に穏やかな時間を過ごす。
開催日等	年6回 奇数月
概要	<ul style="list-style-type: none"> 活動日の1か月前までに、対象者のアセスメントシート(ルームビジット専用)とSONASセッション計画書を記入し、担当職員に配付。 当日までに準備、活動の流れの確認を行う。 当日は挨拶→談笑→本題へと移る。 後半にルームビジットテーマ曲である「上を向いて歩こう」「故郷」を演奏し、歌う。最後に感想を聞き、挨拶をして終了。
対象者	臥床時間の長い方(看取りの方を含む)
成果	対象者の若かった頃や楽しかった頃の思い出を振り返りながら、五感に刺激を与え、心身のリフレッシュを図った。オクタバンドを使用した活動をはじめ、今年度から開始した朗読劇など、様々な活動を行い、対象者に癒しの時間を提供することができた。

栄養課出張寿司	
テーマ (目的)	普段、外出の少ない利用者に寿司屋に行った気分で、寿司を楽しんでもらう。
開催日等	9月、10月、11月、12月、1月、3月 ユニットごとに実施 ※2月は中止
概要	調理台の前に集まって、ブリと一緒に写真撮影を行う。 ブリの解体から寿司を握るまでの一連の流れを見せもらう。 握り寿司が食べられない方には、刻みまたは粉碎した寿司ネタをのせた海鮮丼を提供する。 新型コロナ感染対策として提供方法を見直し、1月以降は厨房で調理した握り寿司や海鮮丼をユニットに配膳した。
対象者	特養入居者、ユニット型特養入居者、ショートステイ利用者、デイサービス利用者、あかね雲利用者
成果	バットにのせた魚と一緒に、一人ずつ記念撮影を行った。魚を見て、利用者の多くがその大きさに驚き、喜びで笑顔になった。解体ショーが始まると、目の前で捌かれ、見る見るうちに刺身や寿司へと変わっていく過程に興味深く見つめていた。寿司はお代わりされる方もいて、「美味しいよ」と大好評だった。ペースト食の方にも握り寿司を小さく切って提供し、喜んでいただいた。

オクタバンド体操	
テーマ (目的)	慣れ親しんだユニットで、職員と一緒にオクタバンドを使って身体を動かし、心身のストレスを解消する。
開催日等	随時
概要	【オクタバンド】 タコのようなデザインで、円を中心にレッグ部(足:8本または16本)が放射状につながっている。レッグ(足)の持ち手部分が輪になっているので、手の力が弱い人でも参加でき、また、柔らかい伸縮性のある素材でできているため、皮膚を傷つける心配もない。座ったままでも立ったままでも使え、それぞれを手で引っ張り合ったり、中心の円形部分にボールを乗せて全員で弾ませたりと、身体を使ったコミュニケーションができる。 つながっているため、誰かが手を動かすとその振動が伝わり、思うように身体が動かせない人でも一体感を味わえる。個別の動きを促進したり、参加者同士の連帯意識を高めたりと、ひとり一人の目的に合った体操が行える。
対象者	どなたでも
成果	一人につき1本または2本の足を持ってもらい、風船バレーを行った。風船を中に投げ入れる職員、風船を叩く入居者、一汗かくまで激しく動き、良い体操となった。

パブリック園芸	
テーマ (目的)	四季折々の花や野菜、果物を育て、成長を見て楽しむ。 野菜、果物を収穫し、みんなで昔を懐かしみ、食して楽しむ。
開催日等	初春、初夏、初冬 適時実施
概要	特養、ユニット型特養の花壇と畑に、ジャガイモ、なす、すいか、ミニトマトなどを植え、大きくなるのを目で見て楽しむ。職員と一緒に水撒き、収穫を行い、最後に料理で味わい、食べ物に感謝をする。
対象者	特養、ユニット型特養の入居者のどなたでも
成果	畑のある 1 階だけでなく、2 階の入居者にも声を掛け、参加してもらった。職員と一緒に、農家を営んでいた入居者に指導してもらいながら作業に取り組んだ。収穫した野菜で、バラエティに富んだ料理(味噌汁、おひたし、胡麻和え、スープ、お好み焼き、大根餅など)を作り、皆で美味しくいただいた。

カラオケクラブ	
テーマ (目的)	好きだった歌手の歌や童謡を歌い、懐かしいあの頃を思い出す。
開催日等	随時(各ユニットで実施)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケ機を使用し、大好きなメロディーに合わせ、ユニットの友だちや職員と一緒に歌う。 ・カラオケ機にリクエスト曲をあらかじめ数曲入れておく。 ・カラオケ機を自分で操作できる方には、スタートを押してもらう。
対象者	どなたでも
成果	集まったのカラオケは難しいので、昨年度から各ユニットで実施できるように、カラオケ機材を増やし、「カラオケクラブ」として活動を開始した。ユニット行事では、職員と一緒に歌うことができた。最初は恥ずかしがって遠慮していた方も、職員に勧められて加わると、一緒になって拍手をしたり、歌ったりと、皆に混ざって和やかで楽しい時間を過ごすことができた。また、童謡の DVD を見て、懐かしい旋律に触れ、しみじみと思い出に浸ることもできた。

12. 家族会

1) 家族会総会（書面）

開催日	内容
6月19日	1. 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画(法人) 2. 令和3年度家族会決算報告、令和4年度家族会予算案について 3. その他

2) 家族会役員会

開催日	議題
7月10日	1. 近況報告 2. 新型コロナウイルス感染症関連について 3. 面会について 4. 行事について 5. 今後の役員会の日程について 6. 広報誌に掲載する会長挨拶の依頼 7. その他
11月13日	1. 近況報告 2. 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症関連について 3. 面会について 4. 敬老会、ふっきい祭を終えて 5. 入居者の処遇について 6. その他
3月26日	1. 近況報告 2. 新型コロナウイルス感染症関連について 3. 面会について 4. 令和5年度 特養年間行事 5. 吹上苑家族会 令和4年度決算(案)について、令和5年度予算(案)について 6. 役員の1年を振り返って 7. その他
要約	家族会役員 3名、施設長、看護課主任リーダー、栄養課主任リーダー、特養主任リーダー、ユニット型特養主任リーダー、特養介護支援専門員、特養生活相談員 10名で開催。家族会総会は、コロナ禍のため、今年度も書面での開催となった。家族会役員会では、吹上苑の近況を説明し、情報を共有した。面会や行事の開催について意見交換を行い、コロナ禍における家族の思いを聞くことができた。

13. 見学、実習

1) 見学受入状況

新型コロナ感染対策により受け入れ中止

2) 実習生受入状況

分野	学校、機関名	実人数	期間	延べ人数	
社会福祉士	立正大学	2年生	4名	8日	32名
		3年生	2名	23日	46日
看護師	北里大学看護専門学校	19名	2～4日	70名	
	熊谷市医師会看護専門学校	28名	2～3日	79名	
	埼玉県立大学	4名	11日	44名	
	日本赤十字看護大学さいたま看護学部	15名	3～8日	95名	
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	埼玉県看護協会	3名	1日	3名	
訪問看護師養成研修		11名	1～2日	20名	
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新型コロナ感染対策のため、PCR 検査や抗原検査を実施し、陰性確認後に実習生を受け入れた。 ・社会福祉士実習の新カリキュラムの導入や昨年度新たに受け入れた学校が、今年度は本格的に実習を開始し、より多くの実習生を受け入れた。 ・コロナ禍においても医療・介護・福祉に関わる人材育成の一旦を担うことができた。 			合計	
				389名	

14. ボランティア活動状況

新型コロナ感染対策により受け入れ中止

< 2 > 特別養護老人ホーム吹上苑

1. 目標、具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

コロナ禍でも、入居者ひとり一人が職員に想いを伝えられ、その人らしく楽しく過ごせるように支援する

1) 入居者ひとり一人の想いが汲み取れるように、担当者を決めて意図的に関わる時間を持つ 【評価】担当者を決めて関わる時間を持ち、ひとり一人の想いを汲み取ることができた。
2) ユニット行事やダイバーショナルセラピー活動を開催し、安全に配慮しながら楽しめる時間をつくる 【評価】誕生日会や季節ごとの行事を通して、楽しんでいただくことができた。ダイバーショナルセラピー活動は各ユニットの状況を考慮し、工夫を加え、楽しい時間を提供できた。
3) コロナ禍で家族に会えない寂しさに寄り添うため、入居者の声に耳を傾ける 【評価】できるだけ入居者の声に耳を傾け、寄り添うことができた。

目標2. 職員として:チームワーク

えがりて(平等)の理念の下、それぞれの専門職が助け合い、チーム力を高める

1) それぞれの専門職がオンライン研修を受講し、法人内で伝達講習会を開催する 【評価】それぞれの専門職がオンライン研修で学んだことを、学習会や内部研修で伝えられた。
2) 職場内の人間関係を大切に、互いに助け合い、体調不良の場合は無理せず休む 【評価】体調不良で欠勤者が出た時は、職員間で協力し合いながら業務を遂行することができた。また、常に体調管理に気を配る必要性を再認識した。
3) 多職種連携を活かし、様々な視点から入居者をとらえ、ひとり一人に合わせたケアを行う 【評価】ユニット会議で入居者の心身の変化について話し合い、必要があれば他部署に連絡、協力を依頼し、迅速に対応することができた。

目標3. 地域に対して:支え合い

コロナ禍の入居者と家族のつながりを大切にする

1) 広報誌『らららん』や毎月の『いい風たより』などを作成し、入居者の吹上苑での生活を伝える 【評価】『らららん』や『いい風たより』を通して、家族に入居者の近況を伝えることができた。
2) 家族の気持ちや希望を大切に、コロナ禍でも面会を開催する 【評価】新型コロナの感染状況に合わせて面会方法を変え、臨機応変に対応した。

2. 行事実施状況

さくら橋町(特養 1 階)

月	行事名
4 月	誕生日会
5 月	誕生日会
6 月	誕生日会、お茶会、じゃがいも掘り
7 月	誕生日会、おやつバイキング、ふっきい祭
8 月	誕生日会
9 月	さつまいも掘り、敬老会・お茶会
10 月	誕生日会、花火大会
11 月	誕生日会、野菜収穫祭
12 月	誕生日会、クリスマス会
1 月	誕生日会
2 月	誕生日会、節分
3 月	誕生日会、お花見
成果、感想	毎月の誕生日会をはじめ、季節ごとの行事を企画した。2 年振りの花火大会はとても盛り上がり、皆様の笑顔を見ることができた。野菜収穫祭では、実った立派な野菜を見て、「すごいね！」「育ったね！」と成長を喜び、調理して美味しくいただいた。来年度も笑顔が見られる企画を考えたい。

せせらぎ町(特養 2 階)

月	行事名
4 月	春のお茶会
5 月	誕生日会
6 月	誕生日会、お茶会
7 月	誕生日会、おやつバイキング、ふっきい祭
8 月	誕生日会、すいか割り
9 月	敬老会・お茶会
10 月	誕生日会
11 月	誕生日会
12 月	クリスマス会
1 月	誕生日会、栄養課出張寿司、新年会
2 月	誕生日会、節分
3 月	誕生日会、入居者様 100 歳のお祝い、お花見
成果、感想	栄養課の協力を得て、おやつバイキング、栄養課出張寿司などを開催した。季節ごとの行事では、笑顔を見ることができ、とても喜んでいただけた。誕生日会では、それぞれの好きな食べ物やプレゼントを用意し、入居者・職員全員でお祝いすることができた。

< 3 > ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

コロナ禍でも入居者ひとり一人の心身の状態に合わせ、安心して安全な生活ができるように支援する

1) 毎日の暮らしの中での小さな変化を見逃さず、穏やかな一日が送れるように想いやりの気持ちを持ってケアを行う 【評価】変化に気づいた際は、すぐに職員間や他部署と情報を共有して話し合い、状態・状況に合わせた対応を行うことができた。入居者ひとり一人に丁寧な声掛けを行い、想いやりの気持ちを持ってケアを行うことができた。
2) ひとり一人の生活スタイルや希望、心身の状態に配慮した心地良い環境を提供する 【評価】起床時間や余暇時間の過ごし方など、その方のこだわりに合わせてケアを、ひとり一人に提供することができた。
3) 家族に会いたいという入居者の気持ちを尊重し、感染症等の最新情報を踏まえ、臨機応変に面会を行う 【評価】新型コロナの感染状況に合わせ、青空面会やガラス越し面会を行い、家族と触れ合う時間をつくることができた。また、看取りの方には居室で面会を行うなど、臨機応変に対応できた。

目標2. 職員として:チームワーク

職員間での情報共有を迅速かつ的確に行い、連携・協働する

1) コロナ禍でもスキルアップを目指し、専門性を深める研修に積極的に参加する 【評価】ズームを用いたオンライン研修や学習会に参加してスキルアップを図った。学んだ知識や技術は、職員全体で共有できるよう努めた。
2) 感染症について学び、基本的な対策をしっかりと行い、体調不良時は休養できる体制を整える 【評価】学習会で看護師からガウンテクニックや消毒の仕方などの感染症対策を学び、実践することができた。体調不良時は互いに協力し合い、休養できる体制を整えた。
3) 多職種からの情報や気づきを大切にし、家族の想いを尊重したケアを行う 【評価】多職種で意見交換や情報共有を行うことで、入居者や家族の想いを尊重したケアを行うことができた。看取りの時期は特に連携を密にして対応した。

目標3. 地域に対して:支え合い

コロナ禍でも家族や地域とのつながりを大事にする

1) 広報誌『らららん』を年4回発行し、吹上苑の取り組みを地域に発信する 【評価】様々な写真を掲載し、吹上苑の取り組みを分かりやすく伝えることができた。
2) 家族には毎月の『いい風たより』で入居者の生活を伝える 【評価】家族に安心してもらえるよう、毎月『いい風たより』を作成し、入居者の様子を伝えた。

2. 行事実施状況

コスモス町、本丸町(ユニット型特養 1 階)

月	行事名
4月	お散歩行事、お楽しみ会
5月	誕生日会
6月	紫陽花工作、お茶会
7月	誕生日会、ケーキ&たこ焼きパーティー、ふっきい祭
8月	かき氷作り、小さな夏祭り
9月	誕生日会、敬老会・お茶会
10月	誕生日会
11月	誕生日会、おやつバイキング
12月	クリスマス会・忘年会、栄養課出張寿司、誕生日会
1月	新年会、誕生日会
2月	誕生日会、キャベツ収穫祭、おやつパーティー、節分
3月	誕生日会、お花見
コスモス町 成果、感想	季節に合わせた行事を行い、四季の移り変わりを感じていただいた。6月の紫陽花工作では、絵の具を使って、綺麗な紫陽花を皆でたくさん咲かせることができました。1月の新年会では書初めを行い、真剣な表情で丁寧に書かれている姿が印象的だった。今後も喜んでいただける行事を企画していきたい。
本丸町 成果、感想	誕生日会の他にも入居者が楽しめる企画を考え、実施することができた。苑庭で収穫した野菜を使用して、料理を振舞った。誕生日会には、本人のお好きな物、食べたい物を伺って準備を行った。皆様とても楽しそうに過ごされていました。

人形町、しらさぎ町(ユニット型特養 2 階)

月	行事名
4月	苑庭をお散歩、ミニおやつバイキング
5月	誕生日会、家庭の味を思い出そう
6月	誕生日会、お茶会
7月	誕生日会、うなぎを食べる会、ふっきい祭
8月	流しそうめん、誕生日会
9月	誕生日会、敬老会・お茶会、秋の味覚を楽しもう
10月	誕生日会
11月	誕生日会、おやつバイキング、ハンバーガー会
12月	誕生日会、クリスマス会・忘年会
1月	新年会、誕生日会
2月	誕生日会、節分
3月	誕生日会、栄養課出張寿司、お楽しみ会、お花見
人形町 成果、感想	毎月、行事を企画し、内容は入居者と相談しながら決めることが多かった。ペースト食の方が多いので、栄養課に協力してもらい、食べられるように粉碎して提供することで、様々な食べ物を召し上がっていただくことができた。
しらさぎ町 成果、感想	毎月行事を行い、入居者に楽しみを提供することができた。8月に流しそうめん、12月にクリスマス会など、その時期ならではの行事を行い、季節を感じてもらうことができた。

特別養護老人ホーム吹上苑 ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑 統計資料

1) 年齢・性別(令和5年3月31日現在)

従来型	男性	女性	合計	平均年齢	87.6
～64歳	1	0	1		
65～69歳	0	0	0		
70～74歳	0	1	1		
75～79歳	1	3	4		
80～84歳	2	7	9		
85～89歳	2	14	16		
90歳～	2	17	19		
合計	8	42	50		

ユニット型	男性	女性	合計	平均年齢	89.5
～64歳	0	0	0		
65～69歳	0	0	0		
70～74歳	1	2	3		
75～79歳	1	1	2		
80～84歳	2	5	7		
85～89歳	0	9	9		
90歳～	2	24	26		
合計	6	41	47		

2) 段階別入居者数(令和5年3月31日現在)

従来型

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度	4.00
0	2	14	16	18	50		

ユニット型

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度	4.08
1	1	11	14	20	47		

3) 障害老人日常生活自立度(令和5年3月31日現在)

従来型

J	A	B	C	合計
0	2	37	11	50

ユニット型

J	A	B	C	合計
1	6	30	10	47

4) 認知症老人日常生活自立度(令和5年3月31日現在)

従来型

なし	I	II	III	IV	M	合計
0	0	10	29	11	0	50

ユニット型

なし	I	II	III	IV	M	合計
0	2	6	33	6	0	47

5) 入退居状況

従来型	入居	退居	退居理由	
男性	3	3	入院	1名※
女性	16	16	死亡	18名(看取り18名)
合計	19	19		

(死因内訳)

老衰:11
進行性核上麻痺:1
うっ血性心不全:1
間質性肺炎:1
COVID-19:4

退居者平均年齢 89.9歳。

※入院先で死亡

ユニット型	入居	退居	退居理由	
男性	3	3	在宅復帰	1名
女性	13	14	入院	1名
合計	16	17	死亡	15名(看取り15名)

(死因内訳)

老衰:13
肺炎:2

退居者平均年齢91.9歳。

6) 回診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配置医	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	6	5	53
歯科	2	2	1	2	2	2	2	1	1	2	2	2	21

北足立郡歯科医師会による訪問歯科(第2・4火曜日)

7) 一般受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	2	0	1	0	2	1	0	3	1	0	2	14
泌尿器科	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	6
整形外科	2	0	1	0	0	0	2	0	1	1	3	2	12
脳外科	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	1	1	7
外科	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
皮膚科	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
精神科	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
合計	6	4	2	3	0	6	5	3	6	2	7	7	51

8) 入院状況

上段:人数 下段:日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	6
入院日数	2	0	0	0	0	7	4	0	8	0	0	16	37
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	36	52
脳外科	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
入院日数	0	0	0	10	5	1	0	0	0	0	0	0	16
外科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
入院日数	0	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
人数合計	1	1	1	1	1	2	1	0	1	0	1	4	14
入院日数合計	2	4	10	10	5	8	4	0	8	0	16	52	119

9) 救急車搬送状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	1	0	1	0	3	0	1	2	1	0	2	13

主な病名 心不全、脳梗塞、骨折等

10) 診断名状況(複数あり)

診断名状況	男	女	合計	診断名状況	男	女	合計
脳血管性疾患	14	33	47	閉塞性動脈硬化症	0	1	1
高血圧症	9	42	51	肺炎他	1	7	8
アルツハイマー型認知症	3	33	36	慢性腎不全	1	3	4
脳血管性認知症	0	5	5	慢性気管支炎	1	1	2
精神科疾患	0	12	12	総胆管性胆管炎	0	1	1
糖尿病	5	12	17	食道裂孔ヘルニア	0	1	1
癌	4	12	16	逆流性食道炎	1	1	2
心疾患	9	21	30	甲状腺機能低下症	0	2	2
パーキンソン病	0	6	6	脂質異常症(高脂血症)	0	6	6
変形性膝関節症	1	9	10	貧血	0	4	4
変形性脊椎症(腰椎症を含む)	0	9	9	下垂体機能低下症	0	1	1
関節リウマチ	0	2	2				

11) 健康診断等

5月 胸部レントゲン、心電図、血液検査、血圧測定 (入居者全員)

11月 インフルエンザ予防接種

12)稼働率

従来型 (単位:%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
99.9	99.8	99.0	99.1	99.7	99.8	100.0	100.0	99.8	98.6	99.5	100.0	99.6

ユニット型 (単位:%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
100.0	99.9	99.7	100.0	99.9	99.2	99.9	99.3	99.1	99.7	97.8	96.5	99.3

< 4 > 短期入所生活介護事業所吹上苑

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

新型コロナ感染対策を徹底し、いつも安心して滞在できる環境を整える

1) 事業所内の基本的感染対策を徹底する 【評価】感染症対策として、1日2回の検温や職員を対象とした定期的な抗原検査の実施、テーブルや手摺りのアルコール消毒などを実施することができた。
2) 季節を感じられる行事を毎月企画する 【評価】敬老会やクリスマス会といった季節ならではの行事はもちろん、毎月行われているおやつ作りでは、季節の食材を使用することで、その時々季節を感じる事ができた。
3) 日常生活の介護を安全に提供する 【評価】利用者について利用開始前はアセスメント内容や担当者会議で、利用開始後はケアカンファレンスや日々の申し送りを通して職員間で情報を共有したことで、ひとり一人のニーズに応じたケアを提供することができた。

目標2. 職員として:チームワーク

コロナ禍において、無理せず働ける職場をつくるため、職員の体調管理に気を配る

1) 十分な休養と栄養補給を心掛けて、ストレスをため込まない 【評価】体調不良者が無理をせずに仕事を休めるよう、職員間でフォローすることができた。また、疑問に感じている業務は、内に抱え込んでストレスをためないように、職員間で随時話し合える機会をつくった。
2) 体調不良時は、無理せず休む 【評価】体調不良時は無理せず休むことを職員間で取決めたことで、無理して出勤すると、逆に周囲に迷惑をかけるという意識が定着し、休みやすい環境になった。
3) 職員の体調不良時には報告、連絡、相談を密にする 【評価】新型コロナの感染が疑われる体調不良者は、出勤可能かどうかを自己判断せず、出勤前に看護課に病状報告や相談をして、施設内にウイルスを持ち込まないように努めた。

目標3. 地域に対して:支え合い

虐待が疑われる地域高齢者や災害時の独居高齢者の、緊急時における受入機関としての機能を果たす

1) 地域包括支援センターからの要請に迅速に対応できるように体制を整える 【評価】いつでも緊急要請に応じられるよう、問い合わせがあった場合にすぐに答えられる職員を、勤務を調整して最低1人は配置するようになった。
2) 居宅介護支援事業所や家族とのこまめな情報交換を心掛ける 【評価】介護支援専門員や家族と密に連絡をとり、利用者の様子、利用希望などについて、情報を共有することができた。
3) 災害時には必要に応じて地域と連携し、受入体制を整える 【評価】洪水時避難訓練を3回実施し、水害への備えを学んだ。

2. 活動実施状況

実施月	活動名	実施内容、評価
4月	ボールゲーム大会	【ボールゲーム大会】 玉入れやじゃんけんボール送り、陣地取りゲームを行った。 【おやつ作り(どら焼き)】 生地作りから始め、ホットプレートを使用して焼く時は、全員がその様子を見られるように配慮した。
	おやつ作り(どら焼き)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
5月	運動会	【運動会】 紅白に分かれて、大玉送りやパン食い競争、玉入れを行い、今回は白組が優勝した。会場内の万国旗の飾り付けが運動会をさらに盛り上げた。
	おやつ作り(マンゴープリン)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
6月	縁日	【縁日】 輪投げや金魚すくい、お菓子のつかみ取りなどのゲームをしたり、お祭りメニューであるチョコバナナやたこ焼き、焼きそばなどを食べて、縁日の雰囲気を楽しんだ。金魚すくいではボイを破かないようにと、集中して楽しまれていた。
	おやつ作り(ミルクレープ)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
7月	かき氷	【すいか割り】 紙風船で代用し、ひとり一人にすいか割りを楽しんでもらった。最後に、本物のすいかを全員で味わった。
	すいか割り	
	おやつ作り(ピザ)	
	シネマ	
	壁絵作り	
パドル体操		
8月	ふっさいフェスティバル	【ふっさいフェスティバル】 ヨーヨー釣りの当てるなどのゲームで遊び、五平餅や冷や汁などを味わった。はっぴを着て、ふっさいとの記念撮影も行い、お祭りの雰囲気を楽しんだ。
	シネマ	
	おやつ作り(フルーツ氷)	
	壁絵作り	
	パドル体操	
9月	栄養課出張寿司(ブリの解体ショー)	【栄養課出張寿司】 ブリの解体ショーを初めて見る方が多く、目が釘付けだった。ブリを抱えての記念撮影や握りたてのお寿司にとっても感動されていた。 【おやつ作り(さつま芋スープとプチパン)】 旬のさつま芋を使用したおやつを企画した。温かいスープはととても好評だった。
	敬老会	
	シネマ	
	おやつ作り(さつま芋スープとプチパン)	
	壁絵作り	
パドル体操		
10月	ラーメン祭り	【ラーメン祭り】 普段はなかなか食べられない、出来立てラーメンを味わっていただいた。特に男性に好評で、数日経っても「あれは美味しかった。」と話してくれた。
	おやつ作り(ワッフルモンブランbyハロウィーン)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
11月	おやつ作り(パンプディング)	【大花火大会】 職員が屋外から打ち上げた花火を、屋内から見物できる花火大会を開催した。飲み物やおつまみも一緒に味わい楽しんだ。
	大花火大会	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	

実施月	活動名	実施内容、評価
12月	クリスマス会	【忘年会】 絶対に景品が当たるハズレなしのくじ引きは全員に喜んでもらえた。思い出の写真をスライドショーにして、お菓子と飲み物をいただきながら、今年を振り返って盛り上がった。
	忘年会	
	おやつ作り(栗ぜんざい)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
1月	新年会	【紅白ゲーム大会】 紅白に分かれて「紅ボール送りゲーム」、「輪投げゲーム」、「伝言ゲーム」を行い、競って楽しんだ。各ゲームとも白熱した試合が繰り広げられ、今回は紅組が優勝した。
	紅白ゲーム大会	
	おやつ作り(フライ)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
2月	節分(豆まき) ※3月に延期	【おやつバイキング】 ケーキや和菓子、ポテトなどを用意し、好きなおやつを選んでもらった。ランチョンマットを敷いて、いつもと違う特別なおやつの時間を楽しんだ。
	おやつバイキング	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
3月	雛祭り	【節分(豆まき)】※ 2月に開催できなかった豆まきをした。鬼に扮した職員に向けて、大声を出して落花生を投げ、1年の邪気を払った。
	おやつ作り(シュークリームと引き立てコーヒー)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	

3.短期入所生活介護事業所吹上苑 統計資料

1)年齢・性別(令和5年3月31日現在)

	男性	女性	合計		男性	女性	合計
65～69歳	0	0	0	平均年齢	88.6	84.9	85.4
70～74歳	2	3	5	最年少	72	70	
75～79歳	3	2	5	最年長	97	101	
80～84歳	2	2	4				
85～89歳	3	14	17				
90歳～	6	23	29				
合計	16	44	60				

2)段階別利用者数(令和5年3月31日現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
1	1	9	8	16	17	7	1	60

3)終了理由

吹上苑		吹上苑以外						合計
施設入居		長期入院	転居	本人希望	家族希望	死亡		
20	8	8	1	1	0	3	41	

4)新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	5	3	4	6	10	4	5	5	4	2	6	60

5)月間利用状況

	営業日数													合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
	実人数													合計	
要支援	2	1	0	0	0	1	1	0	2	2	2	2	13		
要介護	61	63	56	60	65	67	59	67	59	54	51	58	720		
合計	63	64	56	60	65	68	60	67	61	56	53	60	733		
	延べ人数													合計	1日平均
要支援	16	3	0	0	0	2	5	0	16	31	25	6	104	0.3	
要介護	915	931	864	991	991	951	958	955	922	828	779	892	10,977	30.1	
合計	931	934	864	991	991	953	963	955	938	859	804	898	11,081	30.4	

6)夕食利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	4	3	5	4	3	3	3	3	4	4	2	3	41
延べ食数	14	8	9	12	7	10	6	9	7	5	3	5	95

< 5 > 栄養課

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

利用者や家族、地域の様々なニーズや変化を把握し、食事の面で利用者の生活を支える

1) 職員の知識や技術を向上させ、安全でおいしい食事を作るため、勉強会を年間 5 回実施する 【評価】勉強会を 5 回実施し、とろみ加減、盛り付け方法、料理の組み合わせなど、細部まで話し合い、共通理解することができた。
2) 季節や節句を思い出し楽しんでいただけるよう、行事食を年間 48 回実施する 【評価】年間 49 回の行事食と全ユニットでおやつバイキングを実施できた。
3) 新メニューを開発し、献立に取り入れる 【評価】計 27 種類(主菜 5 種、副菜 18 種、汁 1 種、丼 3 種)の新メニューを開発し、献立に取り入れることができた。
4) 看取りの時期には、味覚や嗅覚で思い出の料理や好きな物を楽しめるよう支援する 【評価】コーヒーやバニラエッセンス、粉碎した果物を居室に持って行き、香りを感じていただいたり、召し上がっていただいた。
5) 感染症拡大時や災害時に備え BCP(事業継続計画)を策定し、臨機応変に安心して食べられる食事を提供する 【評価】感染拡大を抑えるため、感染者や濃厚接触者には、使い捨て食器を使用した。状況に合わせた献立の変更など、臨機応変に対応できた。

目標2. 職員として:チームワーク

全ユニットへの中央配膳システムを構築する

1) 衛生管理を徹底し、彩り良くおいしそうに盛り付け、適温で配膳する 【評価】適切な手洗いができているかを手洗いチェッカーで確認したり、当日の体調確認(検温、症状等の有無の確認)をしたりして、衛生管理を毎日行った。盛り付けは、分かりやすくするために、絵にして周知するなど、工夫した。温冷配膳車を使用し、適温で提供することができた。
2) 盛り付け、配膳、下膳、洗浄を栄養課で担い、職員が利用者のケアに時間が取れるよう協力する 【評価】ユニット型特養の中央配膳開始によって増えた作業は、食札を作成することで配膳時間を短縮し、下膳時間の厳守など、ユニット職員の協力を得ることで、栄養課職員の負担が減り、こなせるようになった。
3) 利用者ひとり一人に適した食事形態、食事量、食具で食事を届ける 【評価】ミールラウンドやユニット会議、担当者会議で、介護職員や看護職員から情報を収集し、安全な食事形態、無理のない必要量、使いやすい食器、カトラリーで提供できた。

目標3. 地域に対して:支え合い

デイサービス、ショートステイ、あかね雲、介護予防教室を利用する高齢者の食生活を支援する

1) 季節や旬を楽しんでいただける食事を提供する 【評価】季節を感じてもらえるよう、旬の食材を使用した行事食を提供できた。
2) ひとり一人に適した食事形態を提案する 【評価】摂食嚥下状況を確認し、形態変更の支援ができた。

2. 行事食・選択食

月	日	曜日	行事名	行事食	月	日	曜日	行事名	行事食
4	3	日	お花見献立	いなり寿司・サラダ巻き寿司	10	31	月	ハロウィーン	南瓜ババロア
	8	金	花祭り献立 (お釈迦様の誕生日)	肉団子の彩り蒸し・桜もち	11	3	木	文化の日	松花堂弁当(栗おこわ・天ぷら・柿とくるみの白和え)
	29	金	昭和の日	かつ丼		14	月	埼玉県民の日	ゼリーフライ
5	3	火	憲法記念日	松花堂弁当(赤飯・鮭の西京焼き・メロン・すいか)		15	火	七五三	赤飯・金目鯛粕漬け
	4	水	みどりの日	菜飯 カラス鱈のグリーンソース	20	日	おやつバイキング (コスモス町・本丸町 (人形町・しらさぎ町))	ブッシュドノエル・アップルパイ・フルーツあんみつ・さつま芋の二色茶巾・抹茶ミルククレープ	
	5	木	こどもの日	チキンライス・ハンバーグ 柏もち	23	水	勤労感謝の日	お刺身	
	8	日	母の日	太巻き寿司	12	22	木	冬至	冬至南瓜・柚子
	30	月	おやつバイキング (デイサービス)	焼きそば・コーヒゼリー・フルーツ盛り合わせ・フルーツロールケーキ・ゼリーフライ・あんみつ・クッキー・みそポテト		25	日	クリスマス	ピラフ・星のコロッケ
6	19	日	父の日	さっぱりサラダ寿司		31	土	年越し	年越しそば・天ぷら
	21	火	夏至	冷汁うどん・すいか	1	1	日	新年会	松花堂弁当(祝膳・栗きんとん・黒豆・矢羽根羊羹・伊達巻)
	26	日	選択おやつ	たっぷりフルーツゼリー・チョコプリンプリンケーキ・抹茶ティラミス		2	月	お正月	桜海老ごはん・金目鯛粕漬けおしるこ
7	7	木	七夕	七夕そうめん・天ぷら		3	火	お正月	肉団子の紅白もち米蒸し 雪中南天
	18	月	海の日	焼きそば・すいか	4	水	お正月	ちらし寿司・黒豆・伊達巻	
	23	土	土用の丑の日	うな丼	7	土	七草	七草粥	
	30	土	おやつバイキング (さくら橋町・せせらぎ町)	シャインマスカットケーキ・水まんじゅう・レアチーズケーキ・きな粉ムース・どら焼き・オードブル・二色ゼリー	9	月	成人の日	赤飯・お刺身	
8	11	木	山の日	冷やし中華	1	11	水	鏡開き	おしるこ
	13	土	迎え盆	おはぎ		20	金	大寒	あんかけうどん・甘酒
	16	火	送り盆	穴子丼・いがまんじゅう		2	3	金	節分・豆まき
9	1	木	防災の日	おにぎり・豚汁	4		土	立春	桜海老ごはん・かに錦
	9	金	重陽の日	栗ごはん・菊のお吸い物	11		土	建国記念日	海鮮漬け盛り
	10	土	十五夜	月見まんじゅう	14		火	バレンタインデー	ティラミス
	19	月	敬老の日	松花堂弁当(赤飯・黒糖奥の煮付け・季節の炊き合わせ・三色なます、りんごコンポート、清汁)紅白まんじゅう	23		木	天皇誕生日	天ぷら・お刺身
	23	金	秋分の日(秋の彼岸)	おはぎ	3	1	水	創立記念日	松花堂弁当(たけのこごはん・木の芽焼き・ケーキ)
10	8	土	十三夜	月見まんじゅう		3	金	雛祭り	菜の花ちらし寿司・桜もち
	9	日	選択おやつ	チョコケーキ・モンブラン 二色プリン		14	火	ホワイトデー	パンナコッタ
	10	月	スポーツの日	いなり寿司		21	火	春分の日(春の彼岸)	桜ちらし寿司・ぼたもち
成果・感想		<ul style="list-style-type: none"> ・年間49回の行事食を実施できた。 ・3回のおやつバイキングを実施できた。 							

3. 栄養実績

月	食 数			熱量 (Kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	塩分 (g)	栄養ケア・マネジメント							
								体重減少率(人)				副食形態(人)			
	総喫食数	特養	ショート	給与栄養目標量				3か月		6か月		介護食		嚥下食	
				実給与栄養量				中リスク (3%以上7.5%未満)	中リスク (3%以上10%未満)	特養	ユニット型 特養	特養	ユニット型 特養	特養	ユニット型 特養
				給与率(%)				高リスク (7.5%以上)	高リスク (10%以上)	特養	ユニット型 特養	特養	ユニット型 特養	特養	ユニット型 特養
4	12,547	8,634	2,573	1,400 1,460	55.6 58.2	36.3 40.9	7.7 7.0	3		10		9	0	9	8
			1,038	104.3	104.7	112.7	90.9	1		1		12	18	19	21
5	12,870	8,926	2,579	1,400 1,446	55.6 58.3	36.3 40.0	7.7 6.9		10		11	9	0	8	9
			1,053	103.3	104.9	110.2	89.6		1		1	12	18	20	19
6	12,527	8,665	2,460	1,400 1,441	55.6 57.1	36.3 40.3	7.7 6.9					8	1	9	9
			1,102	102.9	102.7	111.0	89.6					14	18	19	19
7	13,125	8,975	2,753	1,400 1,443	55.6 55.7	36.3 38.8	7.7 6.7	12		13		8	1	8	7
			1,090	103.1	100.2	106.9	87.0	2		2		14	18	19	21
8	13,146	8,957	2,760	1,401 1,439	55.7 56.5	36.4 40.6	7.7 6.8		8		13	8	1	10	5
			1,119	102.7	101.4	111.5	88.3		0		0	12	19	19	22
9	12,674	8,675	2,662	1,403 1,453	55.7 56.3	36.5 41.1	7.7 6.8					10	1	9	6
			1,078	103.6	101.1	112.6	88.3					12	17	19	22
10	13,042	8,974	2,698	1,403 1,449	55.8 56.9	36.6 40.1	7.7 6.7	13		15		10	1	9	5
			1,055	103.3	102.0	109.6	87.0	1		5		12	17	19	23
11	12,513	8,576	2,666	1,403 1,454	55.6 57.2	36.6 40.1	7.7 6.4		7		16	10	1	9	6
			973	103.6	102.9	109.6	83.1		2		2	12	16	18	23
12	12,736	8,828	2,629	1,403 1,464	55.6 58.2	36.6 40.8	7.7 7.1					12	1	8	6
			967	104.3	104.7	111.5	92.2					13	16	17	23
1	12,461	8,780	2,455	1,399 1,472	55.6 59.0	36.5 40.7	7.7 6.7					12	1	10	4
			890	105.2	106.1	111.5	87.0					11	17	15	24
2	11,350	7,853	2,289	1,398 1,448	55.4 57.7	36.5 39.3	7.7 7.0	10	9	8	10	9	3	13	4
			928	103.6	104.2	107.7	90.9	3	2	2	2	14	16	14	22
3	12,661	8,752	2,522	1,395 1,442	55.5 57.1	36.4 41.6	7.7 6.7					7	4	14	6
			1,077	103.4	102.9	114.3	87.0					13	14	15	20
総計	151,652	104,595	43,416	16,805 17,411	667.3 688.2	437.3 484.3	92.4 81.7	38 7	34 5	46 10	50 5	112 151	15 204	116 213	75 259
平均	12,638	8,716	3,618	1,400 1,451 103.6	55.6 57.4 103.2	36.4 40.4 111.0	7.7 6.8 88.3	10 2	9 1	12 3	13 1	9 13	1 17	10 18	6 22

・エネルギー、蛋白質、脂質、カルシウム、ビタミンA、B1、B2、Cの全てにおいて給与栄養目標量に対し、100%以上供給することができた。塩分は、7.7g未満を達成することができた。
 ・総喫食数は、151,652食で前年比101.6%、プラス913食だった。
 ・食材費は、1日1人当たり平均748円となり、予算750円比99.7%、前年比107.0%となった。

<6> デイサービスセンター吹上苑

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

利用者ひとり一人のニーズを把握し、自分らしい在宅生活が継続できるよう、アクティビティを導入したレクリエーションを強化する

1) 担当介護支援専門員と密に連絡をとり、利用者、家族のニーズを把握する 【評価】利用者・家族のニーズに応えるために、担当介護支援専門員と情報共有を十分に行い、在宅生活が継続できるように必要なサービスを提供できた。
2) 利用日の過ごし方を自ら選択できる、心地良い居場所をつくる 【評価】レクリエーションを選択できるようにしたことで、取り組む姿勢が変わり、意欲的になった。利用者とは頃からコミュニケーションを図ることで理解を深め、その人らしい最適な過ごし方や居場所を提供できた。
3) アクティブシニアのための新たな運動メニュー(リハビリ体操・屋外散歩)を導入する 【評価】今年度から午後の活動にコツコツ体操や歌声喫茶を取り入れた。また、利用者の希望に沿ったレクリエーションの選択メニューを増やしたことで楽しみが広がり、より活発に過ごせた。

目標2. 職員として:チームワーク

ひとり一人がそれぞれの役割・専門性を認め、尊重し、持ち味を発揮できるよう、チームケアを実践する

1) 毎月の業務会議で職員各々から議題を挙げてもらい、活発な意見交換と業務改善を行う 【評価】現場の課題については業務中に小カンファレンスを開催し、解決につなげることができた。
2) 業務を円滑に行うために、業務内容を把握した上で、職員各々の役割を分担する 【評価】年度初めに職員それぞれの経験やスキルに合った業務分担をしたことで、持ち味を発揮しながら業務に取り組めた。
3) 職員ひとり一人が健康管理を行い、チームで新型コロナウイルス感染対策を継続する 【評価】日々の業務では介護職員としての自覚を持ち、定期的に抗原検査を実施し、基本的な感染対策を徹底するなど、協力して感染対策を実行することができた。

目標3. 地域に対して:支え合い

医療や介護を必要とする利用者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進する

1) 地域の会議や自立支援型地域ケア会議、オンライン研修に参加し、必要な情報を得るとともに、地域の事業所との連携を深める 【評価】オンライン研修には参加できなかったが、地域ケア会議や自立支援型地域ケア会議には参加できた。近隣の居宅介護支援事業所を定期的に訪問することで、介護支援専門員と連携を深めることができた。
2) 地域の医療機関に、利用者の心身の状態などの情報提供を行い、医療と介護の連携を密にする 【評価】利用者の心身の状態が把握できるようにデータをまとめておくことによって、受診先の医療機関や担当介護支援専門員にタイムリーに情報を提供することができた。
3) 家族が相談しやすいように、信頼関係を構築する 【評価】利用中の様子を伝えるなどしてコミュニケーションを図り、家族との信頼関係の構築に努めた。

2. 活動実施状況

実施月	行事名	日程	行き先	参加人数
4月	ネモフィラ鑑賞	27日	熊谷ドーム	3名
5月	バラ鑑賞	12日	花久の里(鴻巣市)	3名
	おやつバイキング	30日	施設内	31名
6月	運動会	20日		26名
7月	すいか割り	13日		23名
10月	栄養課出張寿司(ブリの解体ショー)	21日		25名
11月	花久の里散歩	10日	花久の里(鴻巣市)	3名
12月	クリスマス会	19日	施設内	29名
1月	新年会	7日		20名
2月	節分	3日		22名
実施内容 評価	<p>・外出行事を再開。天候にも恵まれ、滅多に行けない買い物もできたと喜ばれた。</p> <p>・苑内行事は昨年度同様、感染症対策を行い実施。季節を感じられる行事で楽しんでもらうことができた。</p>			

	活動名	実施内容、評価	回数
クラブ 活動 等	園芸クラブ	数年振りに再開したため、試行錯誤の連続だった。初めて挑戦した苔玉作りは好評で、今でも自宅の玄関に飾ってくださっている方がいる。野菜作りでは、日々成長し、実をつけていく過程を楽しみにされていた。	24回
	ネイルクラブ	今回は活動日を固定せず、空き時間に行った。爪が綺麗になると、とても喜んでくださった。表情が明るくなっていき、ネイルした指先を見せてくれた。来年度からは時間を設けて、ゆっくりお話をしながら行いたいと思う。	数回
	絵手紙クラブ	今年度も利用者が講師となり実施した。慣れている方はデッサンから色塗りまでスムーズにできていた。初めての方は色塗りから始め、作品を仕上げた。	24回
	手芸クラブ	季節に合わせた作品を取り入れた。細かな作業が難しくなってきた方も、針に糸を通すのは難なくできたため、特技を活かしながら取り組んでもらった。完成した作品を自宅に持ち帰り、それを手本にして、何年か振りにミシンを取り出して、さらに違う作品を作った方もいた。	24回
	書道クラブ	「書道はここに通う楽しみの一つ」と仰る方もいて、長年人気のクラブ活動になっている。今年は筆が割れてしまい、書きづらいつの音が多く寄せられたので、来年度は計画的に新しい筆を購入する。	24回
	歌クラブ	大きな画面に歌唱映像を映し、年間を通して花笠音頭や手話ソング「四季の歌」を合唱。身体を動かしながら楽しむことができた。	24回
	こでまりの会(生け花)	新しい参加者も増え、活気を感じられる1年だった。皆さんが楽しみにしており、花を生けるだけでなく交流の場にもなった。	24回
	誕生会	ひとり一人に喜んでもらえるよう、心を込めてメッセージカードを作成した。「毎年楽しみにしているよ」「自分は5回やっってもらっているよ」と言う人がいる一方で、人前ではやらないでもらいたいという方も出てきており、今後は一律ではなく、それぞれに喜ばれる誕生日の祝い方を企画することが必要。	随時
	おやつ作り	包丁や火の取り扱いについては、十分に注意して行った。普段から料理をされている方はもちろん、男性も参加し、利用者同士で作業を役割分担して、楽しむことができた。	3回

3.デイサービスセンター 吹上苑 統計資料

1)年齢・性別(令和5年3月31日現在)

	男性	女性	合計
65～69歳	0	0	0
70～74歳	1	4	5
75～79歳	1	3	4
80～84歳	0	6	6
85～89歳	5	17	22
90歳～	3	27	30
合計	10	57	67

	男性	女性	合計
平均年齢	87.2	88.6	87.9
最年少	73	70	
最年長	97	101	

2)段階別利用者数(令和5年3月31日現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
2	2	9	22	15	6	9	2	0	67

3)終了理由

吹上苑		吹上苑以外		長期入院	転居	本人希望	死亡	その他	合計
施設入居	ショートステイ	施設入居	ショートステイ						
4	7	7	0	1	2	3	7	5	36

4)新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	5	2	2	2	1	0	6	3	0	0	4	27

5)月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	311	
	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27		
事業対象者	実人数												合計	
	1	1	1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	22	
要支援	15	14	15	12	11	12	12	10	10	10	12	11	144	
要介護	66	68	66	62	63	62	59	61	61	56	53	54	731	
合計	82	83	82	76	77	76	73	73	73	68	67	67	897	
事業対象者	延べ人数												合計	1日平均
	5	4	4	6	14	9	8	8	9	8	8	10	93	0.3
要支援	98	90	92	73	72	74	78	54	67	66	72	80	916	2.9
要介護	577	593	563	562	591	573	556	534	516	460	457	507	6,489	20.9
合計	680	687	659	641	677	656	642	596	592	534	537	597	7,498	24.1

< 7 > あかね雲吹上苑（地域密着型通所介護）

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

利用者が在宅生活を続けるための体力を維持できるように、介護予防のための運動を導入する

1)職員は利用者には適切な指導を行うため、リハビリ体操を習得する 【評価】介護・看護職員は、法人内の介護予防教室職員から指導を受け、リハビリ体操を習得することができた。
2)利用者のニーズに応じて、様々な体操メニューを企画する 【評価】利用者の意見を参考にして様々な体操メニューを企画し、実施した。また、レクリエーションにも体を動かすゲームを取り入れた。
3)季節を感じる行事や趣味を取り入れた活動を企画する 【評価】季節に合わせた苑内行事や散策を行い、クラブ活動でも季節感を作品に取り入れて制作した。
4)LIFE(科学的介護情報システム)を活用した PDCA サイクルを開始する 【評価】LIFE を活用するため、利用者情報の入力を進めた。

目標2. 職員として:チームワーク

変化する環境に対応しながら、安全・安心なサービスを提供し続ける体制を整える

1)あかね雲 BCP(事業継続計画)を策定する 【評価】令和5年度の完成を目指し、あかね雲 BCP(事業継続計画)の作成を始めた。
2)研修や学習会での学びによって、認知症ケアのプロフェッショナルとしての対応力を身につける 【評価】認知症に関する研修に参加することはできなかったが、あかね雲内部研修は行うことができた。
3)エッセンシャルワーカーとして、各自が体調管理に気をつけ、施設内・送迎車内の感染対策を徹底する 【評価】職員には、自身や同居家族の体調管理に努めもらい、少しでもおかしいと感じたら出勤を控えるよう周知した。その他の感染対策も徹底したことで、あかね雲内で感染者を出すことはなかった。

目標3. 地域に対して:支え合い

柔軟に対応ができる小規模事業所の良さを活かし、独居高齢者等の在宅生活の継続を目指したサービスを提供する

1)運営推進会議や地域ケア会議の際、居宅・包括の介護支援専門員からの情報収集に努める 【評価】運営推進会議や地域ケア会議に参加したり、居宅介護支援事業所を訪問したりすることで、吹上地域の情報収集を行いつつ、介護支援専門員との関係性を築くことができ、新規利用者の増加につながった。
2)独居高齢者等の送り出しサービスや朝食サービスを開始する 【評価】一人暮らしの高齢者(利用者)を支援するための新たなサービスとして、「デイサービス利用時に必要な荷造り(迎えに伺った時に、入浴の着替えや予備のリハビリパンツ等の荷物をまとめる)」や「洗濯代行」、「朝食提供」を始めた。朝食サービスの利用はなかったが、見学時に関心を持たれる家族は多かった。
3)障害のある方を受け入れる「基準該当生活介護」を継続する 【評価】現在の利用者は1名だが、新規利用者の受入体制を引き続き整える。
4)利用者のケア等に関して、情報収集や意見交換ができるように、家族との関係性を築く 【評価】家族とは、送迎時の申し送りやお便り帳、電話を通じて情報を共有し、気軽に相談をしてもらえる関係性を築くことができた。

2. 活動実施状況

実施月	行事名	日程	行き先	参加人数
4月	お花見散策	1日、2日	元荒川沿い	当日出席者
	バドミントン体操	14日	施設内	当日出席者
5月	バドミントン体操	12日	施設内	当日出席者
	ポピー散策	10日、11日	コスモスアリーナふきあげ	6名、4名
6月	バドミントン体操	9日	施設内	当日出席者
	避難訓練(水害想定)	14日	法人本部避難	当日出席者
7月	七夕行事	9日	施設内	当日出席者
	バドミントン体操	14日	施設内	当日出席者
	すいか割り	19日	施設内	当日出席者
8月	バドミントン体操	11日	施設内	当日出席者
	避難訓練(水害想定)	17日	法人本部避難	当日出席者
9月	バドミントン体操	8日	施設内	当日出席者
	避難訓練(火災想定)	22日	施設内	当日出席者
10月	運動会	10日	施設内	当日出席者
	バドミントン体操	13日	施設内	当日出席者
	コスモス散策	15日	コスモスアリーナふきあげ	9名
11月	栄養課出張寿司	5日	施設内	当日出席者
	バドミントン体操	10日	施設内	当日出席者
12月	バドミントン体操	8日	施設内	当日出席者
	クリスマス・忘年会	22日	施設内	当日出席者
1月	初詣	4日、5日 6日、7日 9日、10日	吹上神社	各2~3名
	バドミントン体操	12日	施設内	当日出席者
2月	節分	3日	施設内	当日出席者
	バドミントン体操	9日	施設内	当日出席者
	避難訓練(火災想定)	14日	施設内	当日出席者
	ひなまつり外出	28日	鴻巣農産物直売所 パンジーハウス	4名
3月	バドミントン体操	25日	施設内	当日出席者
	お花見散策	21日、24日 27日、28日 29日	元荒川沿い	計15名
	実施内容 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内行事は、感染対策を徹底した上で例年通り行った。 ・外出行事は、感染対策を徹底し、散策を中心に行った。 ・どの行事も安全に行うことができ、皆様に楽しんでいただけた。 		

	活動名	実施内容、評価	回数
クラブ活動等	手芸クラブ	ポシェットや眼鏡ケースは、好みの布を選び、ミシンや手縫いで仕上げた。「良いのができたね」「出かける時に使うわ」などと、時間をかけた分、より一層完成させた喜びを分かち合うことができた。ボトルフラワーや風鈴は、季節にぴったりの作品となった。手芸コーナーに展示し、皆で評価し合っただ。楽しんだ。「家でも作ってみたいよ」「今度は何を作るの」と、意欲的な声も聞かれた。	33回
	園芸クラブ	花が好きな方とは、ナデシコやシクラメンなどで寄せ植えを楽しみ、野菜作りが得意な方とは、5月に夏野菜のトマト、ナス、キュウリを植えた。11月に収穫した水菜をおひたしにしたところ、美味しいと喜ばれた。3月になると、サヤエンドウが花を咲かせ、ジャガイモを植えた。この次は何を植えるのかと皆さん毎回楽しみにされていた。	10回
	書道クラブ	季節に合わせた手本をいくつか用意し、その中からそれぞれが書きたい手本を選んで、作品を仕上げた。正月には千代紙を貼って、正月飾りのような作品に仕上げた。展示して他の方に色々な視点から見てもらうことで気づきがあり、励みにつながった。1年分の作品をファイルにまとめて持ち帰ってもらったところ、家族から褒められたと嬉しそうに話してくれた。	24回
	塗り絵クラブ	下絵選びも楽しみの一つになっている。見本に忠実な方やオリジナリティー溢れる方など、塗り方は人それぞれだが、皆さんとても朗らかに、思い思いのペースで取り組まれていた。出来上がった作品は廊下に展示し、誰もが鑑賞して楽しむことができた。	24回
	国語クラブ	難読漢字は、毎年、正答率が少しずつ上がってきている。シルバー川柳問題は、楽しみながら解くことができた。俳句やあいうえお作文では、夫に対する愛情や、一緒に暮らせない寂しさなど、素直な心情が表現されていた。お試して年度末に数回、全員参加で開催してみたところ、周囲の方とコミュニケーションを取りながら答えに辿り着くなど、集中して取り組まれ、いつもより活発なコミュニケーションが見られたことから、来年度は全員参加で国語クラブを開催する方向で検討している。	36回
	絵手紙クラブ	季節の花や果物、動物などの題材を自由に選び、個性を發揮した作品に仕上げた。互いに評価し合うことで、また、廊下に展示することで、絵手紙クラブ以外の方とも話すきっかけができ、交流の機会にもなった。希望者が増えてきたため、参加状況や終了時間にも配慮しながら行っていきたい。	24回

3. あかね雲吹上苑 地域密着型通所介護事業 統計資料

1) 年齢・性別(令和5年3月31日現在)

	男性	女性	合計		男性	女性	合計
60～64歳	0	0	0	平均年齢	85.1	84.4	84.6
65～69歳	1	2	3	最年少	67	67	
70～74歳	0	1	1	最年長	96	97	
75～79歳	2	1	3				
80～84歳	2	6	8				
85～89歳	3	14	17				
90歳～	5	5	10				
合計	13	29	42				

2) 段階別利用者数(令和5年3月31日現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
2	2	5	8	15	8	1	0	1	42

3) 終了理由

吹上苑		吹上苑以外		長期入院	転居	本人希望	死亡	その他	合計
施設入居	ショートステイ	施設入居	ショートステイ						
1	2	4	1	0	1	0	1	3	13

4) 新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	3	1	6	0	2	1	0	2	3	3	2	25

5) 月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311	
事業対象者	実人数												合計	
	0	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	17	
要支援	6	5	5	7	7	6	6	6	5	6	7	8	74	
要介護	24	24	25	26	25	29	27	27	28	28	29	30	322	
合計	30	30	31	35	34	37	35	35	35	35	37	39	413	
事業対象者	延べ人数												合計	1日平均
	0	9	9	11	14	13	12	14	13	4	4	4	107	0.3
要支援	34	28	30	40	42	35	42	34	36	27	35	45	428	1.4
要介護	180	196	219	222	211	202	224	205	219	194	204	243	2,519	8.1
合計	214	233	258	273	267	250	278	253	268	225	243	292	3,054	9.8

あかね雲吹上苑 基準該当生活介護(障がい者総合支援法)事業 統計資料

1)障がい区分・年齢・性別(令和5年3月31日現在)

	障がい区分								合計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分2	区分3	区分4	区分5	
	男性				女性				
～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	1

2)月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月 26	5月 26	6月 26	7月 26	8月 27	9月 26	10月 26	11月 26	12月 27	1月 24	2月 24	3月 27	311	
	延べ人数												合計	1日平均
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
女性	5	7	8	6	7	7	7	7	7	7	6	8	82	0.3
合計	5	7	8	6	7	7	7	7	7	7	6	8	82	0.3

< 8 > 介護予防教室吹上苑（はつらつデイサービス）

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

長期化するコロナ禍においても、カラダ・アタマ・ココロの健康を維持し、地域で元気な生活が続けられるように支援する

1) 自立体力向上運動・脳トレ・スリーA 増田方式等を実践し、楽しくコミュニケーションをとる 【評価】定期的に体力測定を実施し、ひとり一人の健康状態(体の弱点)を把握しながら、日々の運動メニューを考えた。毎回スクワットを10回実施することで、下肢筋力の低下を予防することができた。
2) 自宅でも楽しく生活できる介護予防メニューを提供する 【評価】コロナ禍で外出や運動をする機会が減ったため、自宅でもできる運動やスリーA メニュー、食生活向上のための栄養指導等を行い、実生活に取り入れてもらうことで、フレイルの予防につなげることができた。
3) シニア向けの運動・脳トレ等の情報を様々な場面(インターネット・書籍・ラジオ・テレビ等)で収集し、事業所内の勉強会で一緒に成長する 【評価】各自が自主的に情報収集したものを勉強会で共有した。そこで提案された音楽レクでのDVDの活用、新メニューを試したところ、皆さんから好評だった。
4) 長期化するコロナ禍においても気持ちの落ち込みがないようにフォローしていく 【評価】様々な活動が自粛を余儀なくされるなか、予防教室に通うことで気分転換をしてもらい、笑顔で過ごす時間を提供できた。

目標2. 職員として:チームワーク

職員ひとり一人が新型コロナ感染対策を継続し、安心安全な介護予防サービスを提供する

1) 教室内外の消毒・換気等の感染対策を継続する 【評価】用具や室内外の備品の消毒を継続して徹底し、安心して利用できるサービスを提供した。
2) 新型コロナの正しい情報(法人内での会議・伝達事項等)を理解する 【評価】コロナ禍で研修は受けられなかったが、メディア情報を積極的に活用し、安心安全なサービスを提供できた。
3) 毎日、メニューの中で利用者に感染対策(手洗い・マスク等)の重要性を伝えて、具体的に指導する 【評価】「手洗いの歌」を毎回実施し、感染症対策の重要性を伝えた。利用日には、自宅での検温を依頼し、新型コロナに対する正しい予防法を伝えることができた。

目標3. 地域に対して:支え合い

利用者が、在宅で元気に楽しく暮らし続けられるように支援し、地域全体の健康寿命の延伸に貢献する

1) 地域包括支援センターと連携して、地域に潜在している要援護高齢者をサービスに招き入れる 【評価】十分な広報活動はできなかったが、地域包括支援センターからの依頼や利用者からの紹介等で、新規利用者を増やすことができた。
2) 鴻巣市自立支援型地域ケア会議に参加し、各々の専門職(理学療法士・薬剤師・管理栄養士)からのアドバイスを実践に活用する 【評価】今年度はコロナ禍のため介護予防教室としては不参加であったが、管理栄養士として出席した会議に参加していた専門職からのアドバイスを、教室の活動に活かすことができた。

2. 活動実施状況

実施月	活動名	日程	実施内容、評価	参加人数
4月	お花見	1日	宝養寺の桜と六地藏の見物を楽しんだ。	3名
	自立体力検定と評価	5日 6日 7日 8日	体重を測定し、健康状態を確認した。 片足立ちテスト・立ち上がりテスト・歩行能力テストの3種類の測定を実施し、体力の状況を客観的に評価した。今後の意欲向上につなげた。	37名
7月		5日 6日 7日 8日		40名
9月	ラベンダー花飾り作り	7日	手芸好きの方を対象に、ラベンダーのポプリや綺麗な花を使った花飾りに挑戦してもらい、作る喜びを味わっていただいた。	11名
10月	自立体力検定と評価	4日 5日 6日 7日	体重を測定し、健康状態を確認した。 片足立ちテスト・立ち上がりテスト・歩行能力テストの3種類の測定を実施し、体力の状況を客観的に評価した。今後の意欲向上につなげた。	37名
1月		10日 11日 12日 13日		38名
3月	お花見	28日 29日 30日 31日	宝養寺に桜見物に行った。晴天に恵まれ、桜の木の下、なぞなぞクイズをして脳トレを楽しんだ。最終日には春風に桜吹雪が舞い、「気持ちがいいなあ〜」と言いながら、その心地良さに、皆様の笑顔が見られた。	37名

3.介護予防教室吹上苑 統計資料

1)年齢・性別(令和5年3月31日現在)

	男性	女性	合計
65～69歳	0	0	0
70～74歳	0	1	1
75～79歳	0	4	4
80～84歳	1	11	12
85～89歳	4	12	16
90歳～	3	2	5
合計	8	30	38

	男性	女性	合計
平均年齢	88.6	80.5	84.5
最年少	83	74	
最年長	95	90	

2)段階別利用者数(令和5年3月31日現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	申請中	合計
26	5	7	0	38

3)終了理由

吹上苑		吹上苑以外		要介護	転居	本人希望	入院	死亡	合計
デイサービス	ショートステイ	デイサービス	ショートステイ						
2	0	0	0	1	0	2	1	0	6

4)新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	7

5)月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	196	
	16	14	18	17	17	17	16	16	16	16	15	18	196	
事業対象者	実人数												合計	
	28	29	29	29	28	27	28	30	26	26	26	26	332	
要支援	10	10	11	11	11	10	9	8	11	11	12	12	126	
合計	38	39	40	40	39	37	37	38	37	37	38	38	458	
事業対象者	延べ人数												合計	1日平均
	101	90	118	115	113	104	105	97	94	89	114	114	1,254	6.4
要支援	45	42	57	51	48	51	45	35	41	41	58	58	572	2.9
合計	146	132	175	166	161	155	150	132	135	130	172	172	1,826	9.3

6)昼食利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	37	37	39	39	38	36	36	37	36	36	38	37	446
延べ食数	145	130	174	165	159	153	149	130	134	129	137	171	1,776

< 9 > 居宅介護支援事業所吹上苑

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

利用者・家族の意向に沿い、在宅での自立支援や重度化防止が目指せるよう、ケアマネジメントを行う

1) ケアプラン様式の改定に伴い、利用者・家族の意向から、目指したい生活がより具体的にイメージできる記載にする

【評価】改定ケアプラン様式を活用し、より利用者・家族の意向に沿ったケアプランの作成ができた。

2) 感染症・自然災害等の緊急事態に備え、常に予測を立て、日頃から必要なサービス供給の情報を随時提供する

【評価】法人の感染対策決定事項を守りながら、利用者・家族に必要なサービスを提供できた。

3) 看取りの時期は本人の意思確認を定期的に行い、本人の望む看取りが実現できるよう、医療機関や事業所と綿密に計画する

【評価】日頃の訪問で利用者・家族の現在の想いをしっかりと受け止め、今後起こり得る変化を分かり易く説明し、利用者・家族に寄り添いながら的確な助言ができた。

目標2. 職員として:チームワーク

情報共有、意見交換等で連携を密にし、いつでも話し合い、支え合える職場環境をつくる

1) 各々で体調管理を心掛け、体調不良の時でも担当利用者を引継ぎできるように、業務会議や業務管理ソフトの活用で、利用者情報を共有しておく

【評価】業務会議や業務管理ソフトの活用で担当以外の利用者の情報を把握し、適切な対応ができた。

2) コロナ禍でも、オンライン研修やインターネットなどで最新情報を収集する

【評価】月刊専門誌やオンライン研修によって最新情報を収集し、事務所内で共有することができた。

3) 毎週の業務会議を活用し、情報共有や困難事例の対応などを話し合う

【評価】困難事例は業務会議等で相談や議論を行い、ひとりで抱え込まずに解決に導くことができた。

目標3. 地域に対して:支え合い

超高齢社会に向け、地域で暮らす高齢者、介護者、介護が必要な方々が身近に感じられる事業所を目指す

1) 地域包括支援センター主催の地域ケア会議や鴻巣市自立支援型地域ケア会議に参加し、インフォーマルサービスを加えた自立支援型ケアプランの立案に取り組む

【評価】感染予防に努めながら、会議に参加、事例発表も行い、専門家のアドバイスを受け、自立支援型ケアプランの理解を深めることができた。

2) 医療と連携して地域の包括的な支援・サービス提供体制を整え、必要な方々に届ける

【評価】地域の往診医、薬局、訪問看護などと連携し、必要とする利用者に必要なサービスを届けることができた。

3) 地域の最新感染情報を収集し、利用者家族に正しい情報を伝える

【評価】最新情報を収集し訪問時伝達、利用者や家族は安心してサービスを利用することができた。

4) 吹上地域の高齢化率上昇に伴い、随時新規相談を受け入れる

【評価】電話相談や来所相談、地域包括支援センターからの支援困難ケースの依頼もできるだけ受け入れることができた。

2. 居宅介護支援事業所吹上苑 統計資料(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1) 給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
要介護1	38	39	40	42	44	42	40	41	41	40	37	39	483	34.4%
要介護2	48	46	45	43	39	37	37	38	38	38	36	36	481	34.2%
要介護3	24	23	24	20	17	20	19	22	22	21	19	17	248	17.7%
要介護4	7	9	10	9	12	15	12	10	12	11	9	12	128	9.1%
要介護5	6	6	7	6	6	6	5	5	4	4	5	5	65	4.6%
合計	123	123	126	120	118	120	113	116	117	114	106	109	1,405	100%

2) 年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
～69歳	7	7	6	6	6	5	4	4	4	2	2	2	55	3.9%
70～74歳	7	8	10	10	10	11	12	13	12	13	13	11	130	9.2%
75～79歳	13	14	15	13	14	16	16	18	20	18	16	15	188	13.4%
80～84歳	19	19	17	17	17	16	15	14	13	14	13	11	185	13.2%
85～89歳	38	36	38	35	35	36	31	31	30	32	29	33	404	28.8%
90歳～	39	39	40	39	36	36	35	36	38	35	33	37	443	31.5%
合計	123	123	126	120	118	120	113	116	117	114	106	109	1,405	100%

3) 性別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
男性	45	46	48	44	44	45	43	44	43	41	40	40	523	37.2%
女性	78	77	78	76	74	75	70	72	74	73	66	69	882	62.8%
合計	123	123	126	120	118	120	113	116	117	114	106	109	1,405	100%

4) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
訪問	159	152	158	172	131	149	147	129	131	126	133	147	1,734	39.8%
電話、FAX、メール	213	228	250	291	259	228	179	192	202	219	169	194	2,624	60.2%
合計	372	380	408	463	390	377	326	321	333	345	302	341	4,358	100%

5) 連携先

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
デイサービス	85	84	95	98	80	65	72	58	73	78	68	66	922	22.7%
ショートステイ	68	68	81	70	73	82	55	54	66	65	59	62	803	19.8%
福祉用具	68	46	39	34	41	47	55	49	36	41	45	46	547	13.5%
デイケア	12	20	17	22	22	15	10	11	13	11	13	7	173	4.2%
訪問介護	22	18	15	18	34	28	37	26	30	48	32	22	330	8.1%
訪問看護	35	26	36	34	53	36	31	30	10	35	34	34	394	9.7%
訪問リハビリ	2	5	7	6	4	2	0	3	9	4	0	7	49	1.2%
訪問入浴	0	6	6	6	13	12	5	14	7	7	14	8	98	2.4%
行政	16	20	23	51	19	36	28	22	15	21	17	13	281	6.9%
医療機関	9	22	22	23	24	9	20	8	10	18	5	29	199	4.9%
社協	6	4	8	3	1	0	1	0	0	0	0	0	23	0.6%
施設(老健など)	2	7	10	9	16	14	11	3	4	3	20	10	109	2.7%
その他	3	10	7	16	24	13	9	8	12	9	10	13	134	3.3%
合計	328	336	366	390	404	359	334	286	285	340	317	317	4,062	100%

※【その他】は、民生委員や介護保険外サービス等。

6) 契約者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
継続中	133	130	135	130	125	127	121	123	123	119	114	115	1,495	91.0%
新規	3	2	2	6	3	2	2	4	2	2	0	2	30	1.8%
利用なし	9	4	7	9	4	6	6	4	4	4	8	6	71	4.3%
終了	4	2	2	5	4	3	8	7	2	2	2	6	47	2.9%
合計	149	138	146	150	136	138	137	138	131	127	124	129	1,643	100%

※【利用なし】は、「入院中」「老健入所中」「サービス利用なし」の数。

7) 終了理由

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
死亡	2	0	1	3	2	2	4	4	1	0	0	1	20	40.9%
転出	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4.1%
事業所変更	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2.0%
入所(特養)	0	0	0	2	1	0	2	2	0	4	2	2	15	30.6%
(老健)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.0%
(GH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2.0%
(有料)	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	6.2%
(サ高住)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2.0%
要介→要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	5	10.2%
合計	2	2	2	5	3	3	9	8	2	5	2	6	49	100%

※【その他】は、「長期利用なし」「長期入院のための終了者」の数。

8) 介護保険認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
鴻巣市(在宅)	2	9	1	6	5	9	3	10	4	4	9	9	71
(施設)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	9	1	6	5	9	3	10	4	4	9	9	71

9) 地域包括支援センターから支援困難者の依頼件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規依頼件数	3	2	2	6	3	2	2	4	2	2	0	6	34

10) 介護予防支援受託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
委託件数	26	28	28	27	25	25	24	23	21	22	23	23	295

< 10 > 鴻巣地域包括支援センター吹上苑

1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 高齢者が住み慣れた地域で健康で生き生きと安心して暮らし続けられるように支援する

1) 関係機関との連携を密に行い、スムーズな支援に努める 【評価】日頃から、各関係機関と顔の見える関係づくりや情報共有等に努めた結果、実際のケース対応が必要になった時に、スムーズに連携することができた。
2) 日々の相談から、いち早く権利擁護の必要性を判断し、素早く対応する 【評価】相談者の主訴に、虐待や消費者被害といった直接的なキーワードがなくても、話の内容から権利擁護の必要性について常に意識して対応することができた。
3) 高齢者対応連絡調整会議に参加して市や他包括と連携し、困難事例にも迅速な対応ができるように情報を共有する 【評価】高齢者対応連絡調整会議に毎回参加し、困難事例の対応方法等の情報共有を行い、日々の支援に活かすことができた。
4) 職種に特化した研修会に参加する 【評価】虐待のフォローアップ研修、在宅医療連携、ケアマネ研修等に参加し、スキルアップができた。
5) ケアラーからの相談には関係機関と連携を図りながら、ケアラーが孤立することのないように相談支援を行う 【評価】ケアラーからの相談では、ケアラーが孤立することのないように各関係機関と連携し、「オレンジカフェ」や「認知症と家族の会」などの集いの場を紹介したり、介護者教室・介護者交流会を通じた仲間づくりの場を設けるなどして相談支援に当たった。

目標2. 自立支援、介護予防・重度化防止に向けたケアマネジメントを徹底する

1) 圏域の介護支援専門員と積極的に情報交換を行い、連携、協働の体制づくりをする 【評価】吹上圏域の地域ケア会議、ケアマネ研修、交流会、アセスメント研修などを開催した。コロナ禍で参加者は少なかったが、介護支援専門員から地域包括支援センターへの相談は増えていることから、連携・協働の体制づくりができた。
2) 中央型、包括型の自立支援型地域ケア会議、圏域の地域ケア会議、ネットワーク会議、地域住民の意見等から地域課題を抽出、分析する 【評価】各会議や住民の意見等から収集した地域課題を抽出・分析した結果、移動支援の充実や支援の担い手不足解消の必要性が明らかとなった。
3) 地域ケア推進会議を活用して、高齢者の自立支援に不足するサービスを市へ提言していく 【評価】地域ケア推進会議において、移動支援の充実や支援の担い手不足解消といった課題への解決策を話し合い、市に提案できた。

目標3. 認知症支援策の充実を図る

1) 地域の住民が認知症の方の支援の担い手として活躍できるように、情報提供や活動につなげる支援をする 【評価】地域住民を対象に、「認知症サポーター養成講座」や「見守り隊フォローアップ研修」を開催し、認知症の理解を深めていただくことができた。また、「オレンジカフェ」や「チームオレンジ」などを紹介することもできた。
2) 鴻巣市認知症初期集中支援担当者との連携に努め、認知症高齢者や家族、介護支援専門員へのスムーズな支援につなげる 【評価】ケース会議に同席したり、同行訪問を心掛け、本人・家族、介護支援専門員とのスムーズなつながりを行うことができた。
3) 「認知症ケアパス」を積極的に活用して認知症の相談支援を行う 【評価】相談時に認知症ケアパスを活用し、分かりやすい説明を心掛けた。

目標4. 地域の社会資源の把握に努め、地域におけるネットワーク構築を進める

1) 地域における社会資源(サロン等のインフォーマルサービスを含む)の一覧表を作成する 【評価】毎月の業務会議で社会資源の情報共有と整理を行い、随時更新した。一覧表を作成し、4月の地域ケア会議で発表、地域の介護支援専門員と情報を共有できた。
2) 生活支援体制整備事業(1層、2層協議体)へ参加する 【評価】1層、2層協議体へ参加し、移動販売を実現させた。

目標5. 地域の関係機関との連携を強化する

1) 入退院時支援ルール、医療と介護の連携シート、医療介護連携ノート等を活用する 【評価】これらのツールの主な対象者は「医療機関との連携を密に行う必要がある方」で、そもそも予防支援事業所の利用者が対象者に該当する方は少ないのに加え、市内の医療機関との連携を前提としているため、行田市、熊谷市等の医療機関と関わる機会が多い吹上苑地域では活用する機会が少なかった。
2) ネットワーク会議の開催等で地域の関係機関との連携を強化し、顔の見える関係づくりに努める 【評価】新型コロナウイルス感染対策を徹底し、対面でネットワーク会議を開催することができた。

2. 鴻巣地域包括支援センター吹上苑 統計資料(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1) 包括的支援事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(1) 総合相談													
1 地域におけるネットワーク構築													
① マップ作成	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
② ネットワーク会議開催	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
③ 関係者名簿作成	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
④ 出前講座等実施	2	1	2	1	0	0	1	1	3	2	1	1	15
2 各種相談対応	347	427	442	326	363	405	398	318	391	325	313	438	4,493
3 継続的・専門的な相談支援	7	10	17	6	16	31	12	13	29	28	2	6	177
(2) 権利擁護相談事業													
1 各権利擁護制度活用促進	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2 権利擁護相談													
① 成年後見人制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 虐待防止及び養護者支援	0	1	0	1	3	0	0	6	7	1	1	0	20
③ 消費者被害防止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業													
1 介護支援専門員会議(地域ケア会議)開催	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	10
2 介護支援専門員同士ネットワーク構築支援	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3 介護支援専門員の実践力向上支援	0	2	3	2	3	2	1	1	3	2	1	1	21
4 研修会企画・開催等	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5 関係・医療機関との連携および体制づくり等	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
(4) その他													
1 独居・要援護高齢者実態把握(訪問等)	23	46	39	30	22	30	25	30	30	27	31	41	374
2 広報・啓発活動													
機関紙・事業周知のチラシ作成	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	6
3 事業連絡会参加													
包括定例会、連絡会、事業所連絡会等	3	6	3	7	1	7	3	7	3	3	3	7	53
自立支援型地域ケア会議	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11
4 研鑽・資質向上(研修会参加等)	0	0	1	0	0	0	2	2	1	5	2	4	17
5 教育・啓発活動(研修等受け入れ)	1	0	1	1	1	0	2	1	1	2	2	0	12

2) 介護予防事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者把握事業													
① 対象者実態把握	5	5	10	2	3	6	4	7	8	8	5	5	68
② チェックリスト回収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3) 任意事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家族介護支援事業													
1 介護者教室	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
2 認知症教室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

4) 指定介護予防支援事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防ケアマネジメント事業													
介護予防支援(予防給付)	126	134	135	126	128	131	133	129	141	145	145	145	1,618
介護予防ケアマネジメント事業(総合事業)	127	125	128	133	127	127	123	123	121	122	124	127	1,507
予防ケアプランに係る相談支援件数	820	654	728	703	543	626	657	687	611	675	581	632	7,917

5) 介護保険認定調査実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険認定調査	1	5	0	4	0	9	3	7	11	6	10	7	63